

43399

教科書文庫

4
920
32-1941
20000 26356

教科書文庫
4
920
32-1941
2000026356

廣島縣教育會編纂

裁縫學習帳

高等科第二學年用



広島大学図書
2000026356

帝國教育會出版部

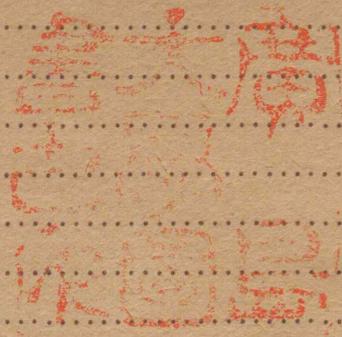


371.9
H18

中央図書館
資料室

目次

1	大裁袷長着男物	(24時間)	2
2	大裁袷羽織女物	(25時間)	9
3	大裁袷羽織男物	(20時間)	18
4	袖無羽織	(20時間)	22
5	中裁羽織	(16時間)	27
6	小裁綿入長着	(16時間)	28
7	帯	(10時間)	37
8	仕事着	(14時間)	47
9	モンペ	(13時間)	52
10	長襦袢	(20時間)	54
11	禮服		56
12	各種羽織普通出來上り寸法		62
13	半ズボン	(19時間)	63
14	作業服	(16時間)	73
15	嬰兒服	(15時間)	76
16	婦人服		78



教科書文庫
4
920
32-1941
2000026356

廣島大學
圖書印



官
室

..... 2
 9
 18
 22
 27
 28
 37
 47
 52
 54
 56
 62
 63
 73
 76
 78

廣島大學
圖書印

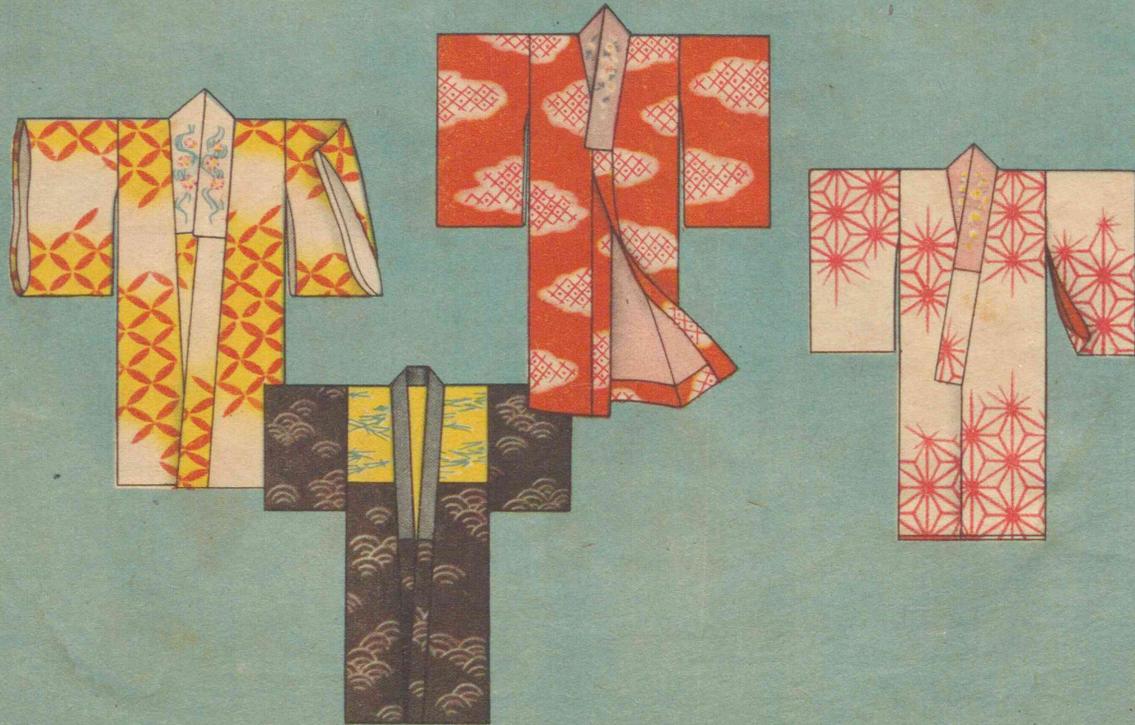
教科書文庫
4
920
32-1941
2000026356

広島大学図書
2000026356
[Barcode]

小裁綿入長着



長 繻 絆

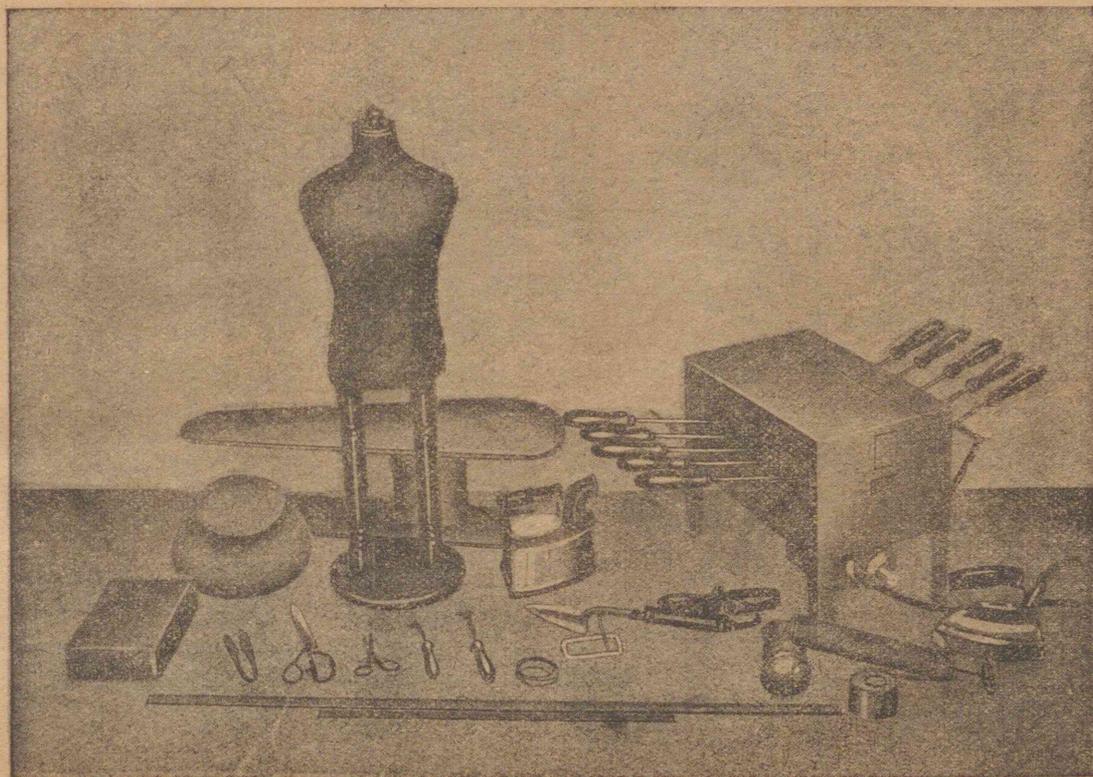


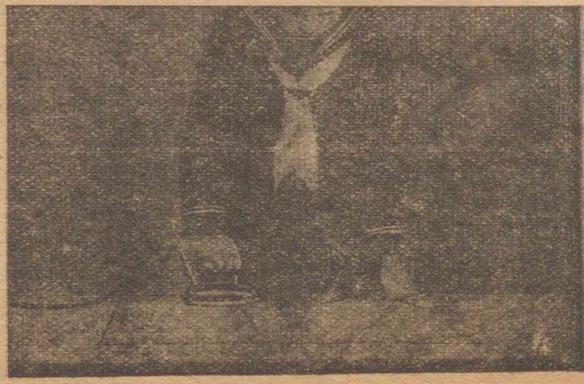
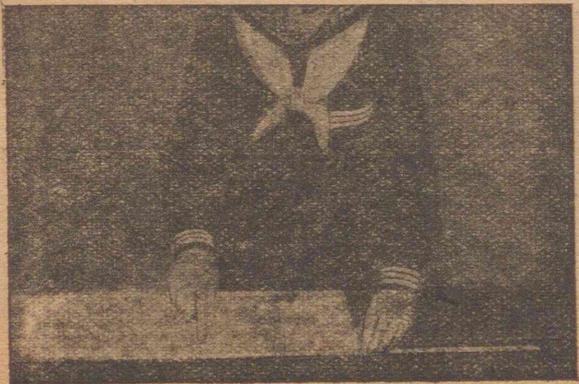
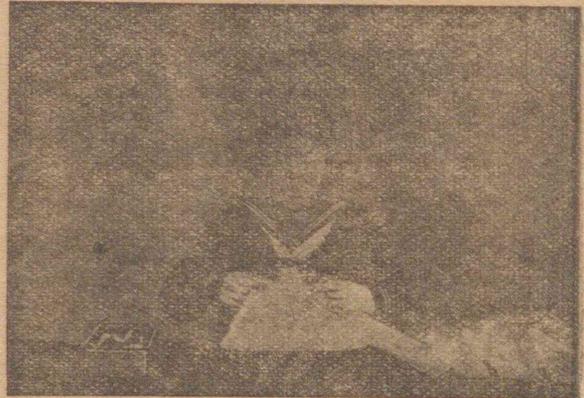
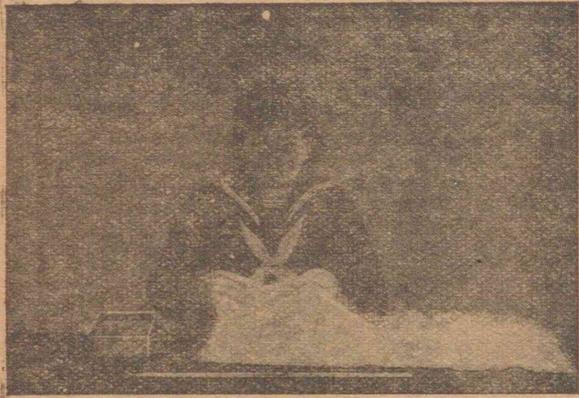
半ズボン

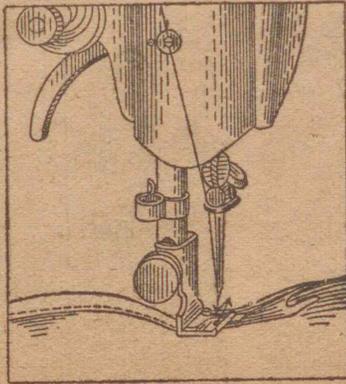
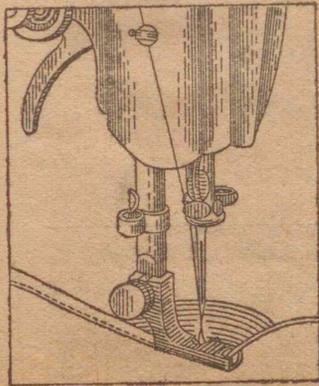
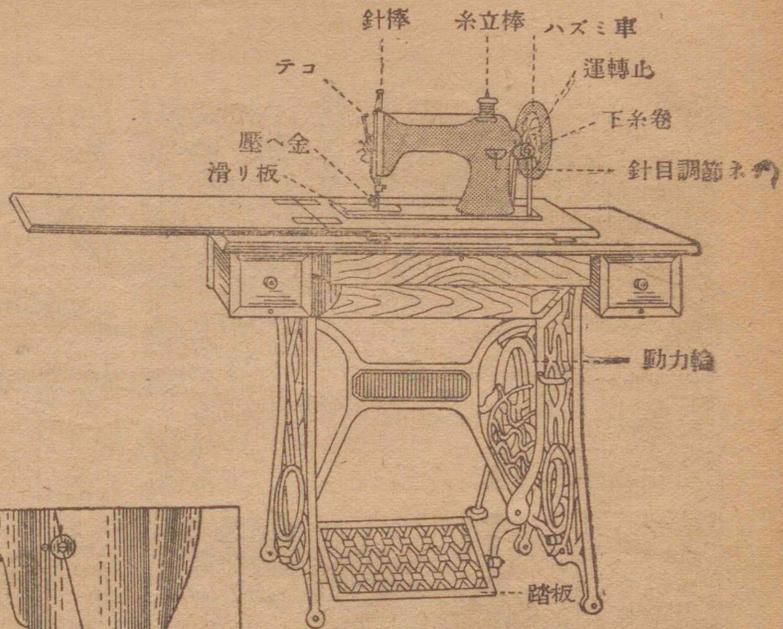
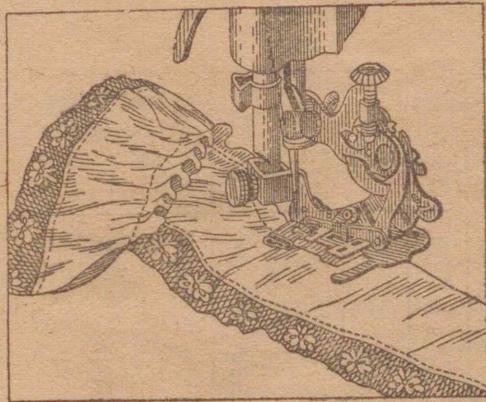


婦 人 服





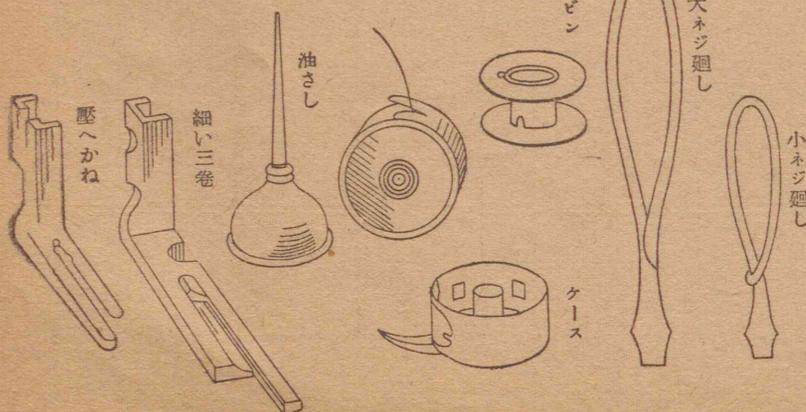
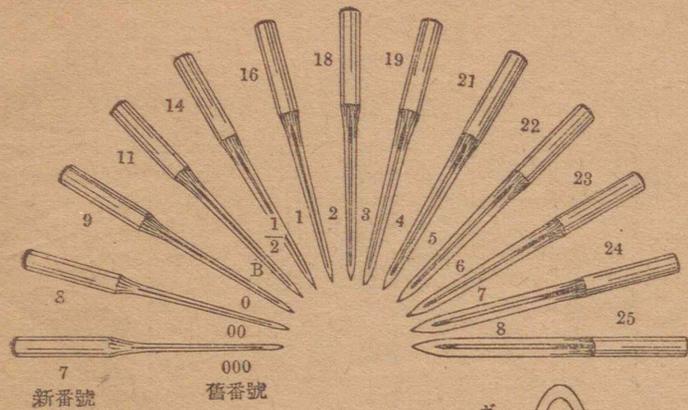




手 入

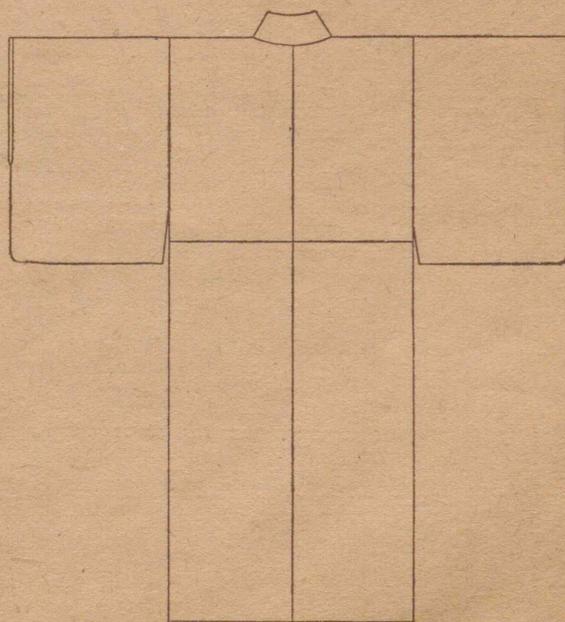
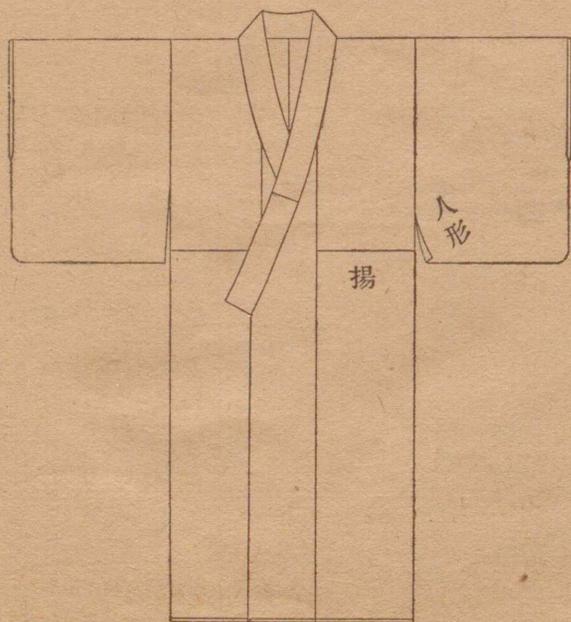
- 1 静かに出し入れする事。
- 2 使用の始めと終りには
必らずきれいに拭ふ事。
- 3 時々油をさす事。

糊附の前に



針	糸	布
8	刺繍糸 細き羽二重糸	薄地の絹織物 ジョーゼット グレップデシル ボイル
9	細き羽二重糸 羽二重糸 100番(カタン糸)	厚地の絹織物 富士絹物 毛織物 セルメリン ビロード
11	100番 80番 (カタン糸)	薄地の木綿洋服地 キヤラコ ギンガム グレップ ポプリ 絹スポンデ スポンデ トブラル 金巾
14	60番 50番 (カタン糸)	厚地の木綿洋服地 ギンガム ケ 天竺

1 大裁 袷長着男物



布

薄地の絹織物
ジョーゼット
クレップデシ
ボイル

厚地の絹織物
士絹物
毛織物
セリンズ
メロード

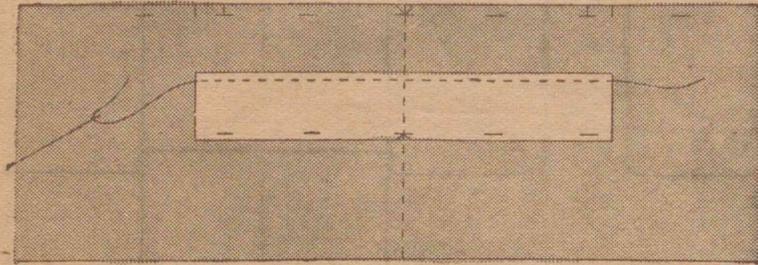
薄地の木綿洋服地
キヤラコム
ギンガム
グレップ
ポプリン
絹スポンデ
ストラル
金巾

厚地の木綿洋服地
ギンガム
ピケ
天竺

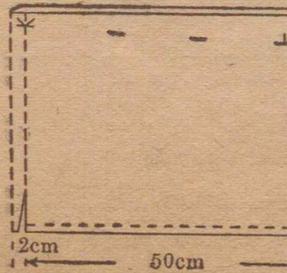
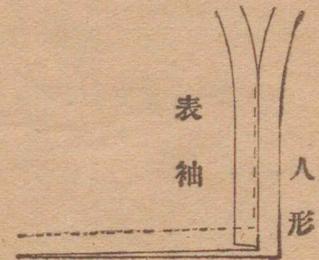
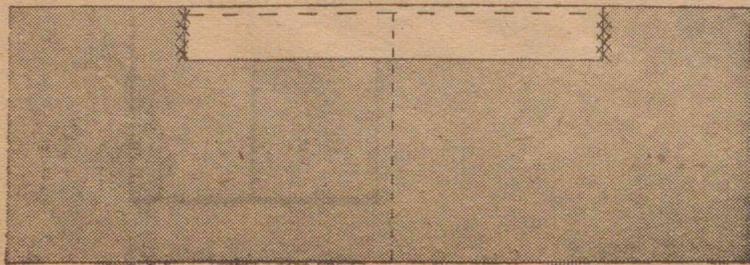
大裁 裕長着 男物

袖口布の掛け方

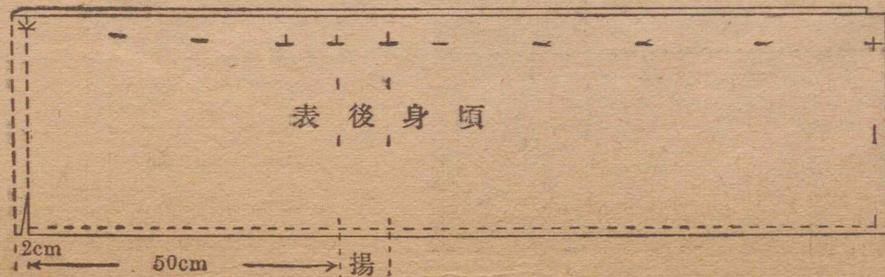
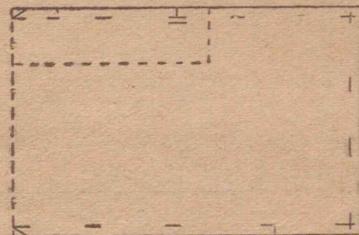
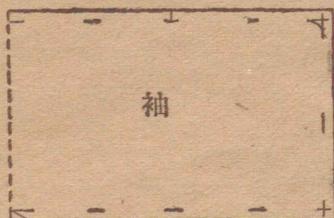
(1)

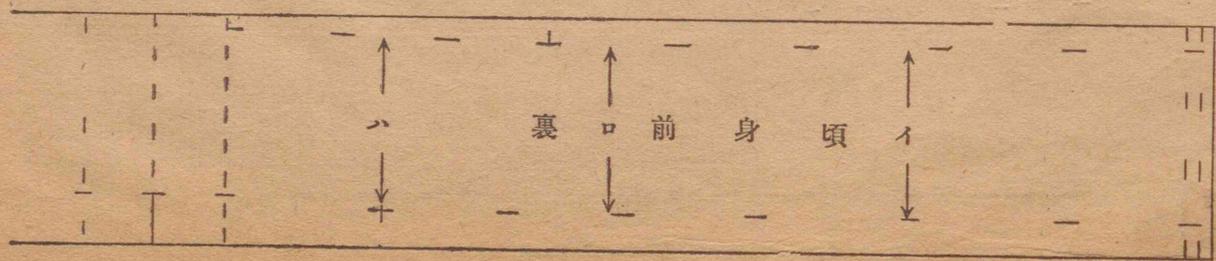
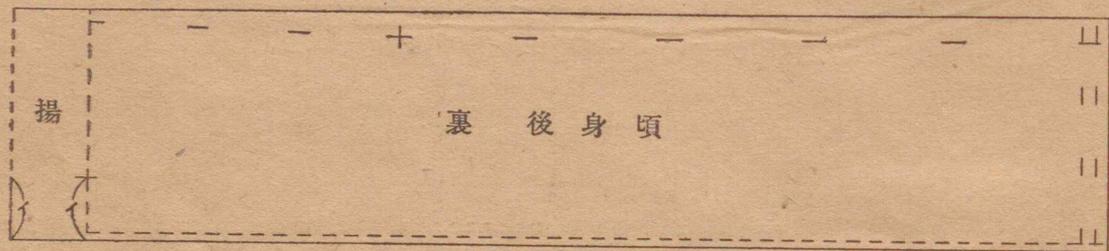
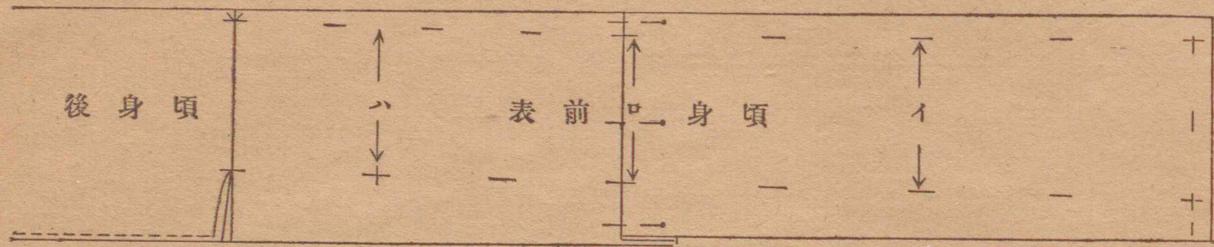


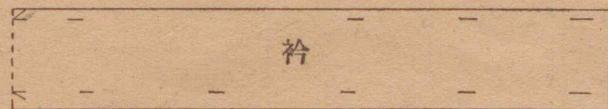
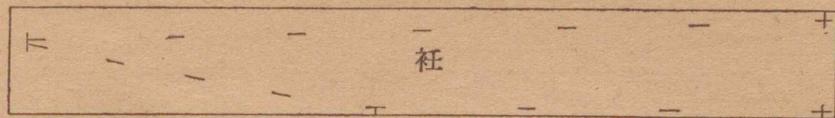
(2)



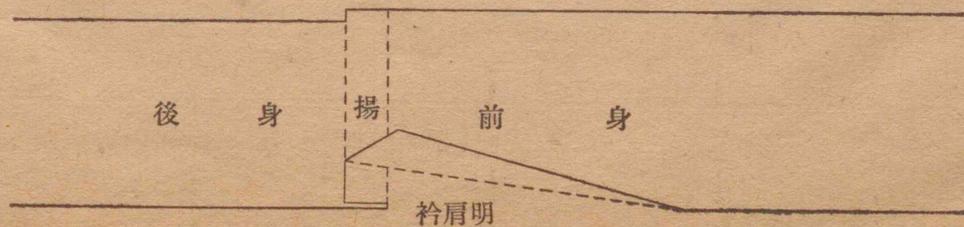
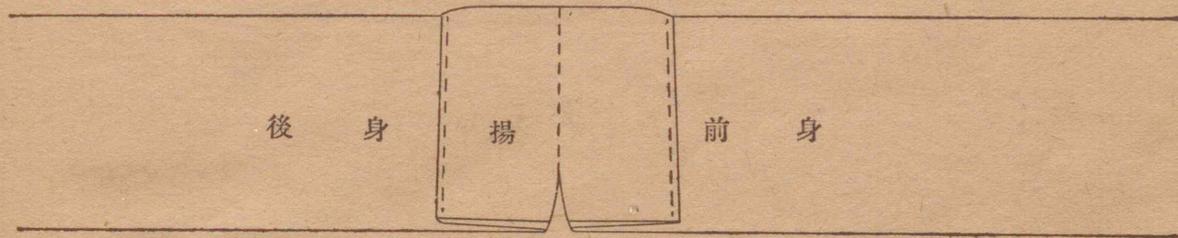
標 附 け 方







裏揚の仕方



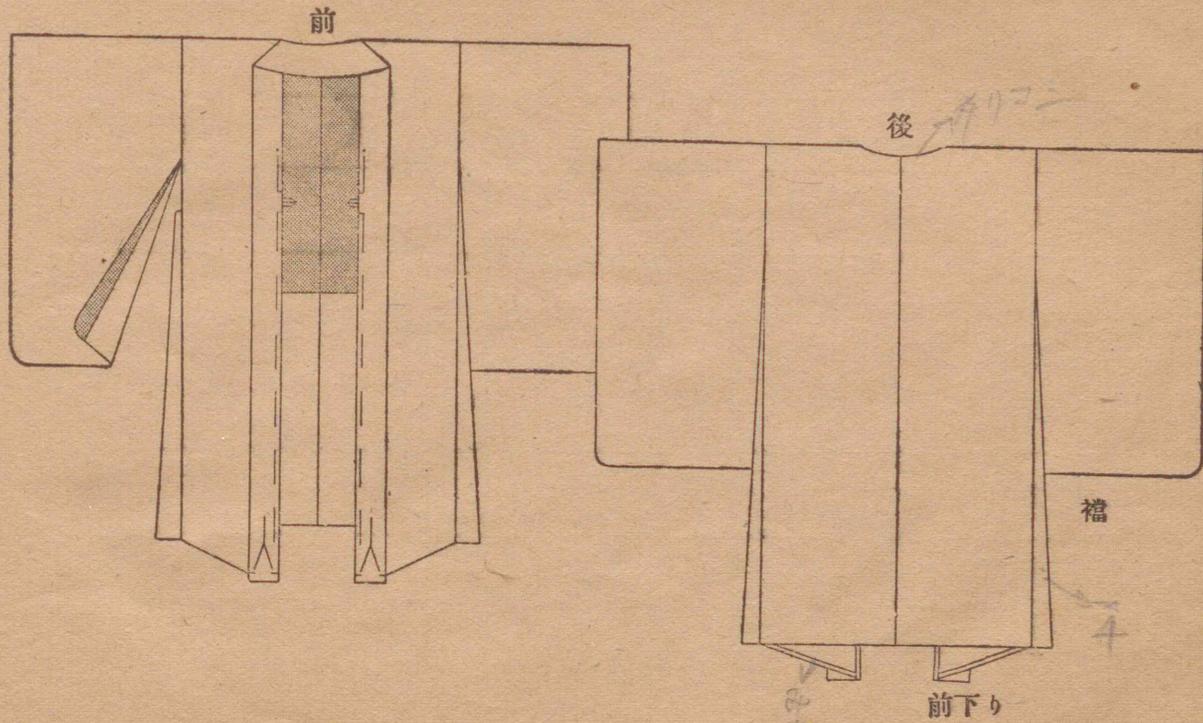
(高二一七)

縫 方 順 序

(高二—8)



2 大裁 衿羽織女物



地質

用途 織物	表地	裏地
綿織物		
絹織物		
毛織物		
人絹 ス交織物		

柄及色合

袖
袖
袖
袖
身
身
後
厚
袖
袖
袖
前
前
袖
袖

普通出来上り標準寸法				實習出来上り寸法		
名 稱	14.5歳用	大人用	長着との關係	名 稱	寸法(歳)	
袖 丈	65cm	56cm	長着に同じ (着附により2cm内外つめる)	袖 丈		
袖 口	21	23	長着に同じ	袖 口		
袖 附	21.5	23.5~28.5	長着より 0.5cm 多く	袖 附		
袖 幅	32	32	長着より 0.5cm 廣く	袖 幅		
身 丈	95内外	100内外		身 丈		
衿 肩 明	8.5	9	長着より 0.5cm 多く	肩 衿 明		
身 八 ッ 口	8~10	8~10		身 八 ッ 口		
後 幅	27	28	長着に同じ	後 幅		
肩 幅	29	30	長着より 0.5cm 詰める	肩 幅		
襠 幅	{ 上 2 下 6 }	{ 上 1.5 下 6.5 }		襠 幅		
衿 幅	6	6.5		衿 幅		
紐 附	30	32~36	肩 か ら	紐 附		
前 下 り	4	4		前 下 り		
前下り見返し	0.3	0.3		前下り見返し		
繰 越	1	2	長着より1cm多く	繰 越		
衿	61	62	長着と同寸	衿		
				襠 丈		

縫 方 順 序

1 衿の折り方

2 袖

3 脊 縫 (表裏)

4 胴 接 ぎ

5 前下り縫

6 脊 と ち

7 後襟附及後八ッ口縫

8 前襟附及前八ッ口縫

9 袖 附 (表裏)

10 衿附とち

11 紐 附 (乳)

12 衿 附

13 衿先縫及まとめ

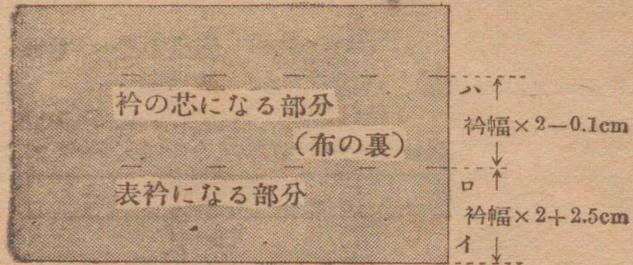
14 衿ぐけ及しつけ

15 仕 上 げ

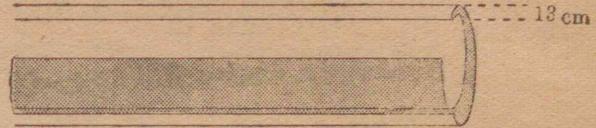
衿の折方

(細い線は輪を表はす)

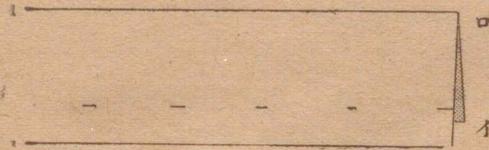
(1)



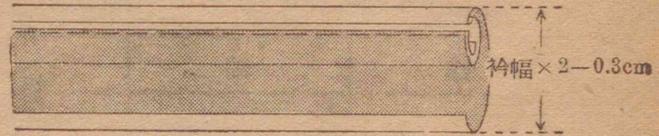
(4)



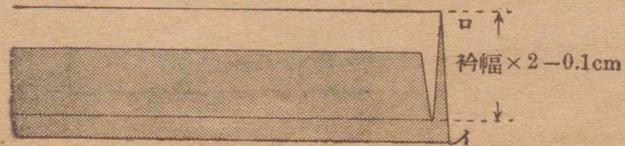
(2)



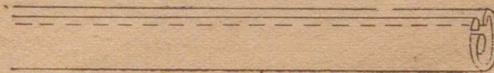
(5)



(3)



(6)

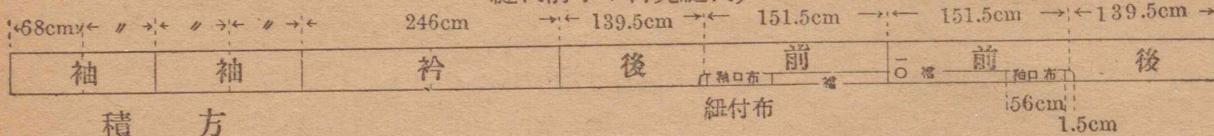


大裁衿羽織(女物)表の裁方積方

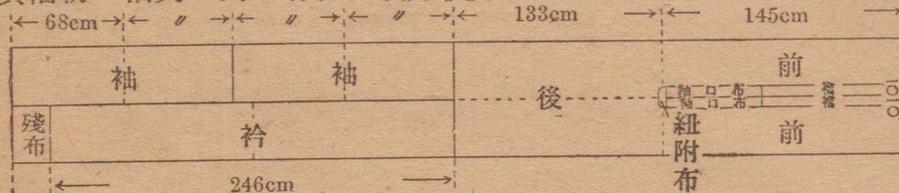
裁切寸法の定め方

並幅物で表地の裁方積方
(幅36cm 丈110cm)記入寸法14.5歳用

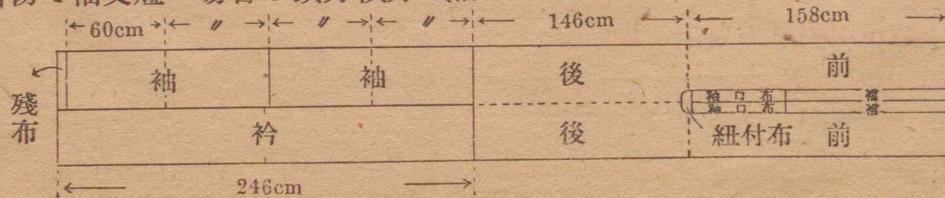
袖丈=出来上り袖丈寸法+縫代(2cm~3cm) 前後の差=12cm
 袖丈=(出来上り身丈+衿肩明繰越三ツ衿 衿肩明
 縫代前下り衿先縫代)×2 (袖口布幅、襷幅)=9.5cm~10.5cm



廣幅物で袖丈の長い場合の裁方積方 (幅72cm 丈550cm)記入寸法は14.5歳用



積方 幅物で袖丈短い場合の裁方積方 (幅72cm 丈550cm)

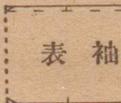
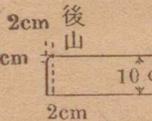


並幅物で

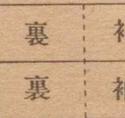
← 68cm



積方



廣幅物で裏

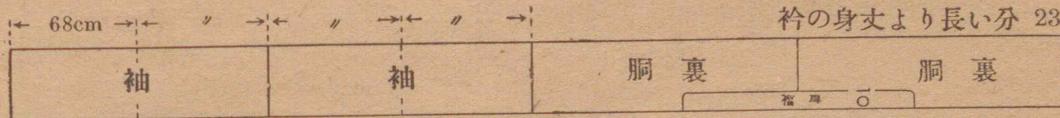


標 附 方

裏地の裁方

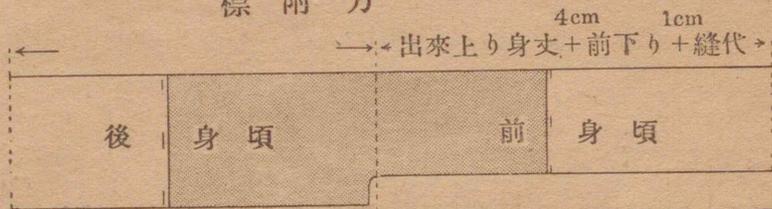
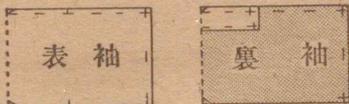
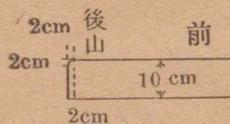
並幅物で裏地の裁方積方(36cm丈538cm)

袖下縫代 3cm × 8
 総縫代 = 胴接縫代 4cm × 8
 (118cm) 前下り 4cm × 4
 衿の身丈より長い分 23cm × 2



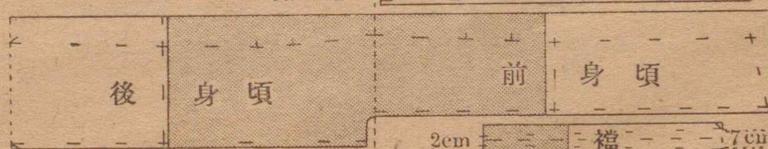
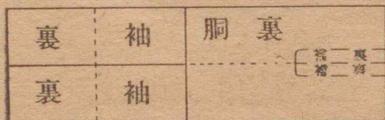
積方 出来上り袖丈 × 8 + 出来上り身丈 × 10 + 総縫代 - 表総尺 = 裏総尺

標 附 方



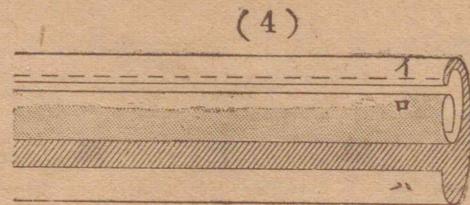
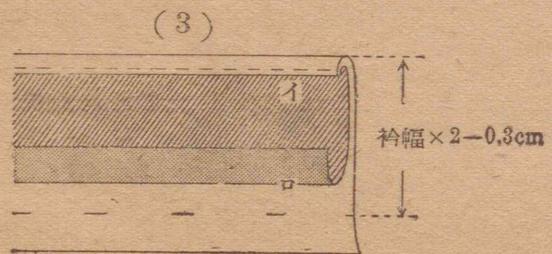
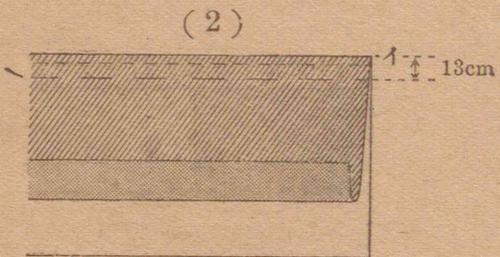
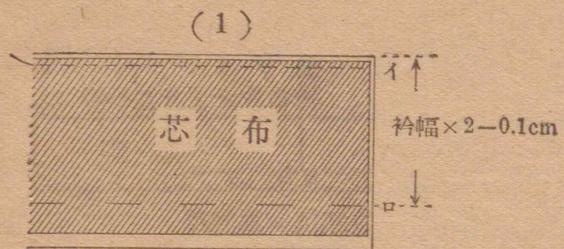
廣幅物で裏地の裁方積方 (幅72cm丈 269cm)

繰越

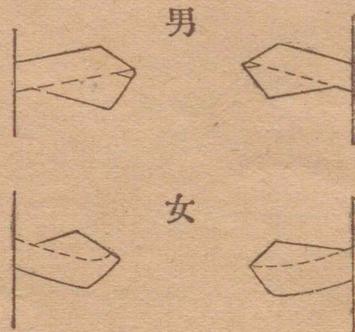


カキ目

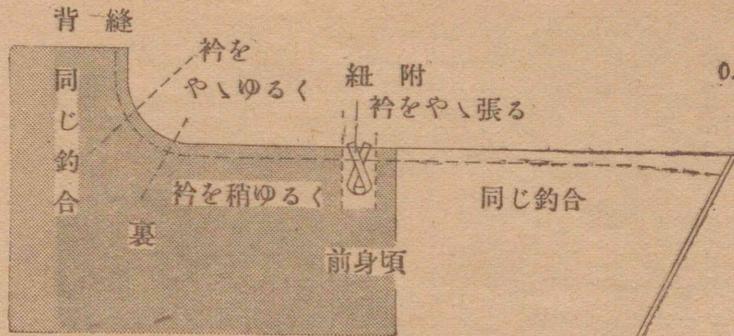
半幅衿の折方



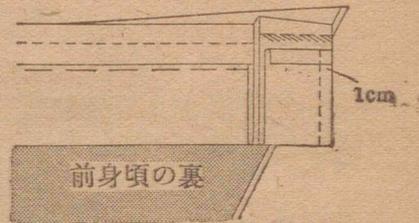
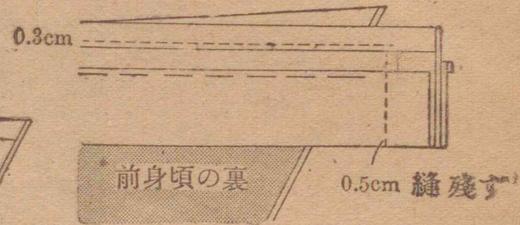
紐附の付け方



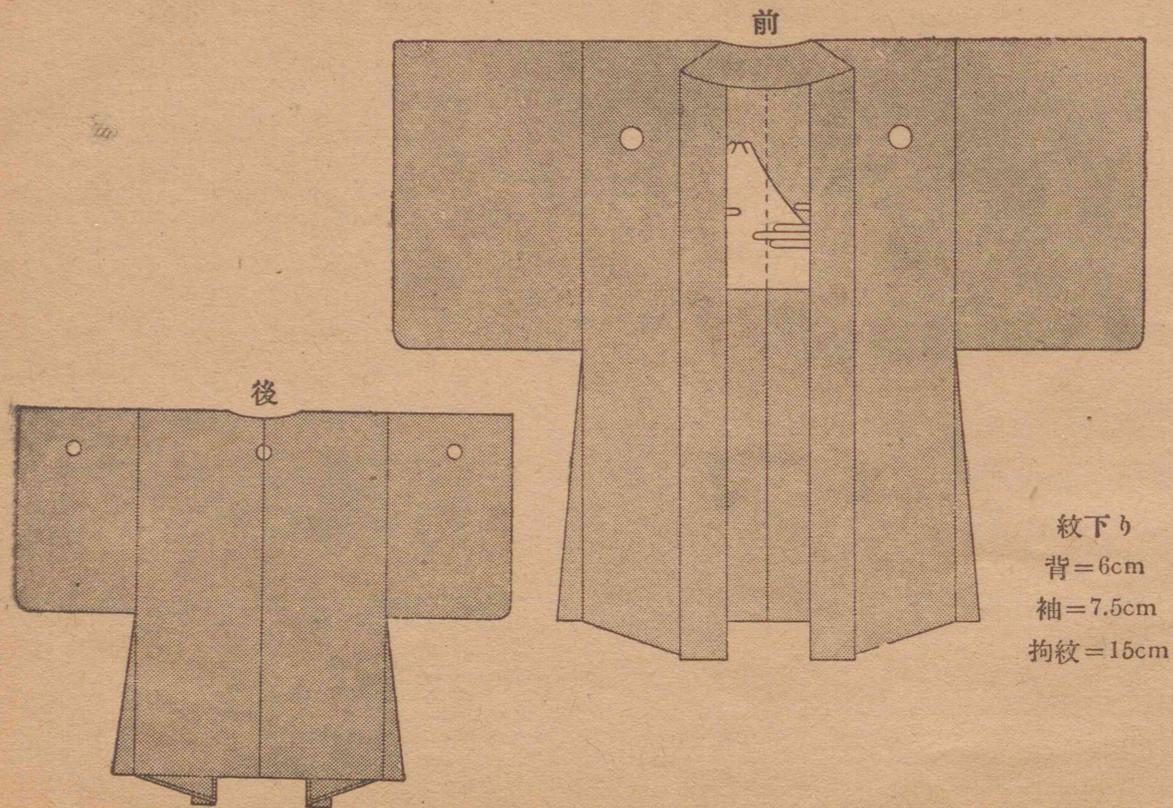
衿付釣合ひの取り方



衿先の縫方



3 大裁 裕羽織 男物



(高二-18)

名
袖
袖
袖
身
衿
後
肩
襦
衿
紐
前
前下
繰
衿

普通出来上り標準寸法				實習出来上り寸法	
名稱	寸法	長着との關係		名稱	寸法(歲)
袖丈	53.5cm	長着より0.5cm長く		袖丈	
袖口	27	長着と同じ		袖口	
袖附	53.5	全體		袖附	
袖幅	33	長着より0.3cm廣く		袖幅	
身丈	105内外			身丈	
衿肩明	9	長着より0.5cm多く		衿肩明	
後幅	30	長着に同じ		後幅	
肩幅	33	長着に同じ		肩幅	
襠幅	7			襠幅	
衿幅	7			衿幅	
紐附	32~34	肩から		紐附	
前下り	4			前下り	
前下り見返し	0.2			前下り見返し	
繰越	1			繰越	
衿	66	長着と同寸		衿	
				丈	

紋下り
背=6cm
袖=7.5cm
拘紋=15cm

裁切寸法の定め方

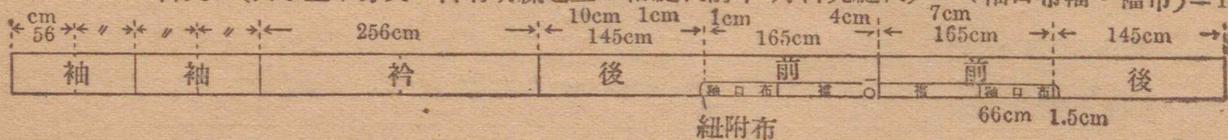
大裁 袴羽織男物の裁方積方

並幅物で表地の裁方 裁切寸法の定め方

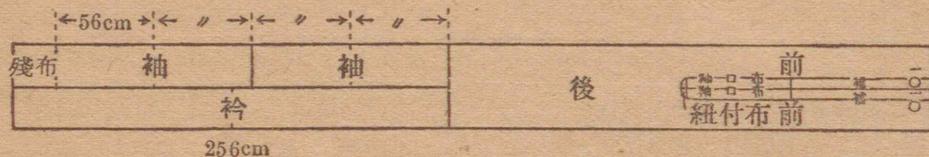
(幅36cm 丈1110cm) 袖丈 = 出来上り袖丈寸法 + 縫代(2cm~3cm)

衿丈 = (出来上り身丈 + 衿肩明線越三つ袷縫代前下り、衿先縫代) × 2 (袖口布幅・襦巾) = 10cm

前後の差 = 2cm内外
衿肩明



廣幅物で表地の裁方 (幅72cm 丈550cm)

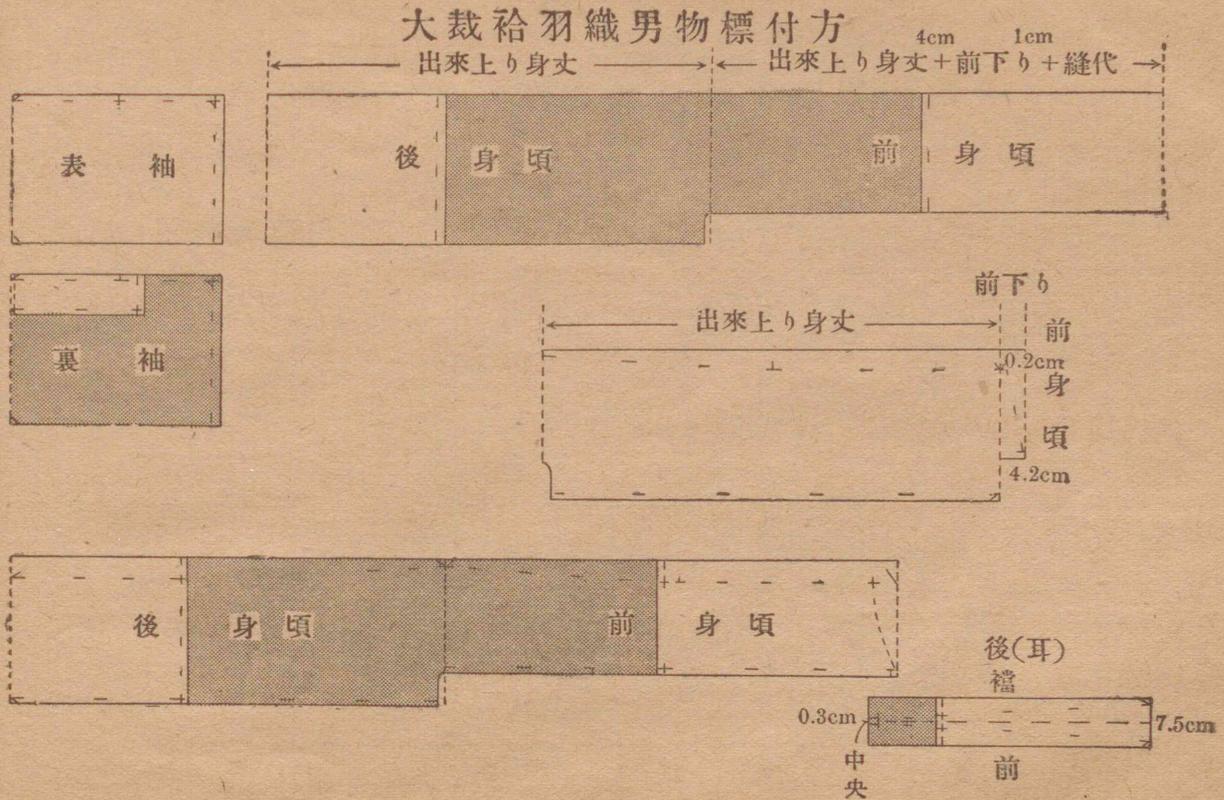


並巾物で裏地の裁方 (巾36cm 丈496cm)



後の差=2cm内外
肩明
(口布幅・襷巾)=10cm
→← 145cm →
後
cm 1.5cm

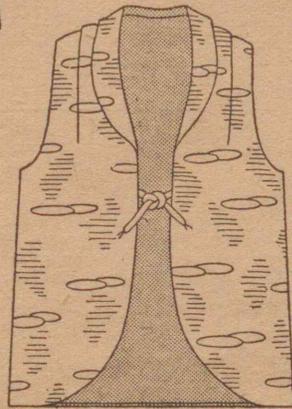
大裁袷羽織男物標付方



縫 方 順 序



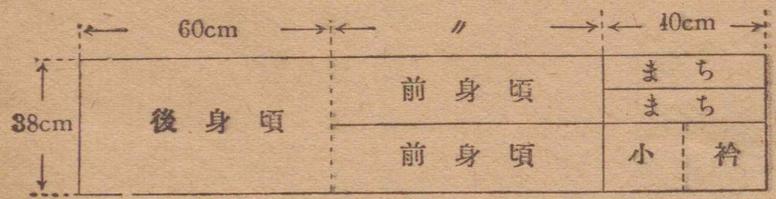
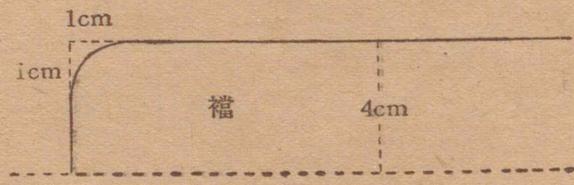
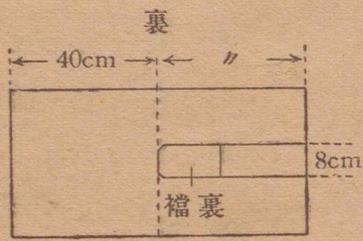
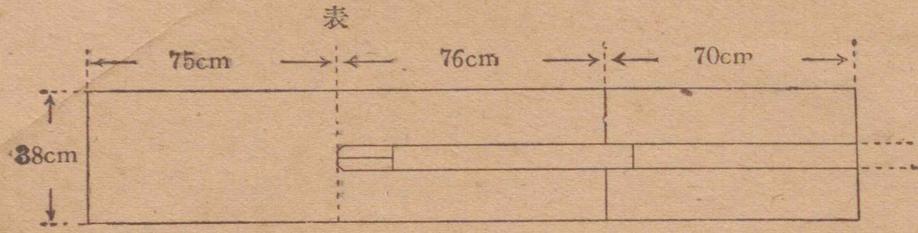
4 袖 無 羽 織



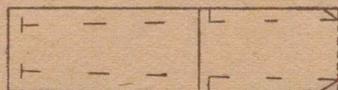
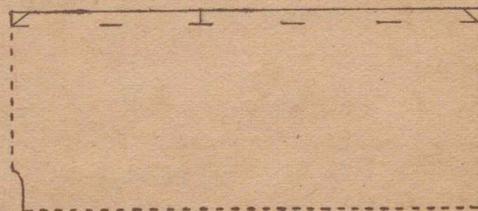
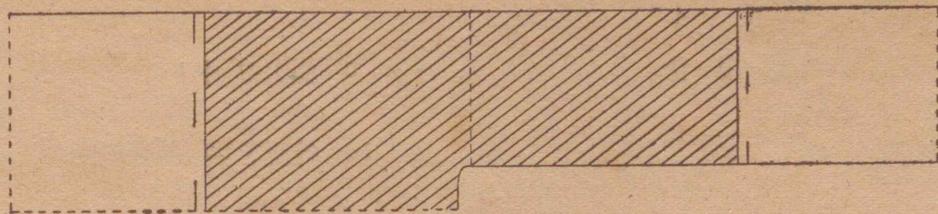
出来上り寸法 (1.2歳)

身丈	50cm~55cm
衿肩明	4cm
脇明	20cm~23cm
後幅	いつばい 16cm
前幅	いつばい 11cm
前下	1cm
襟幅	{ 上 4cm 下 5.5cm
線越	0.3cm
紐附	肩より 20cm
衿幅	4cm 内外
紐丈	17cm

袖無羽織裁方



方 附 標

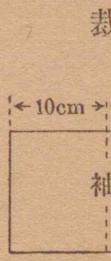


(高二—25)

4cm

縫 方 順 序

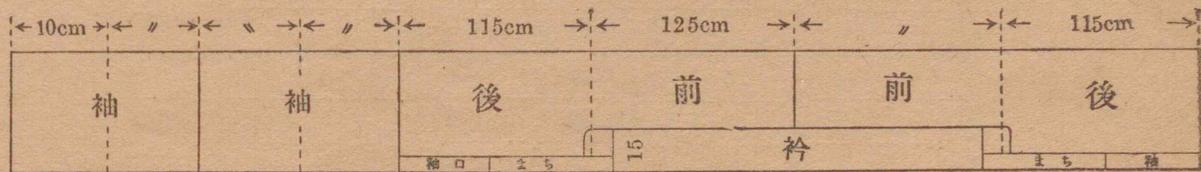
- | | |
|-------------|--------------|
| 1 衿の折り方 | 9 假とち中とち |
| 2 胴接ぎ | 10 衿附とち合せ及紐附 |
| 3 後襠附 | 11 衿附 |
| 4 前襠附 | 12 衿先繼及まとめ |
| 5 襠上縫合せ及綿含め | 13 衿ぐけ及しつけ |
| 6 脇明留 | 14 仕上げ |
| 7 脇明縫合せ及綿含め | 15 肩揚げ |
| 8 綿入 | |



5-中 裁 羽 織

裁 ち 方

用 布 並 幅 600cm



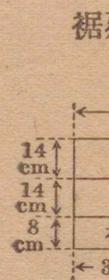
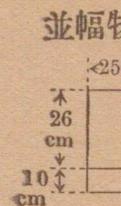
6 小裁綿入長着

普通出来上り標準寸法		實習出来上り寸法	
名稱	寸法	名稱	寸法(歳)
袖 丈	25cm~27cm <small>(元祿)</small>	袖 丈	
袖 口	13~15	袖 口	
袖 附	13~15	袖 附	
袖 幅	20内外	袖 幅	
身 丈	70~90	身 丈	
衿・肩 明	4内外	衿 肩 明	
身 八ッ口	10	身 八ッ口	
後 幅	いづばい	後 幅	
前 幅	いづばい	前 幅	
衿 下り	10	衿 下り	
衿 下	15~20	衿 下	
衿 幅	いづばい 12~15	衿 幅	
衿 幅	3	衿 幅	
紐 附	身八ッ口紐 幅の中心	紐 附	

地 質

柄

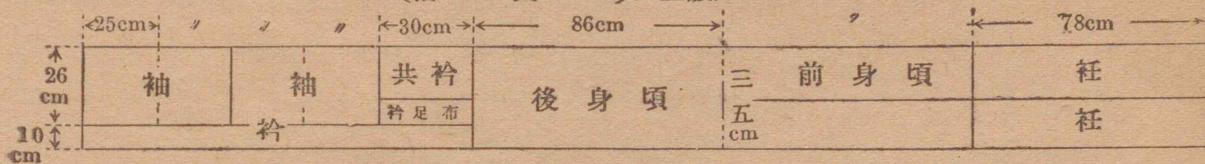
色 合



小裁綿入長着裁方積方

並幅物で表地の裁方

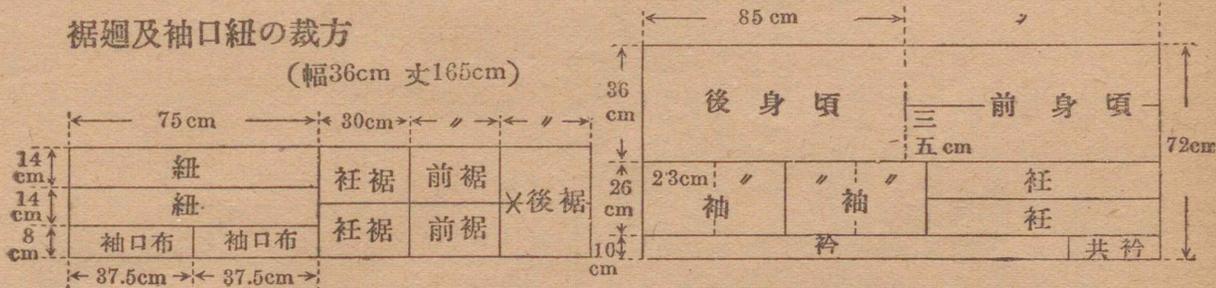
(幅36cm 丈380cm)二三歳用



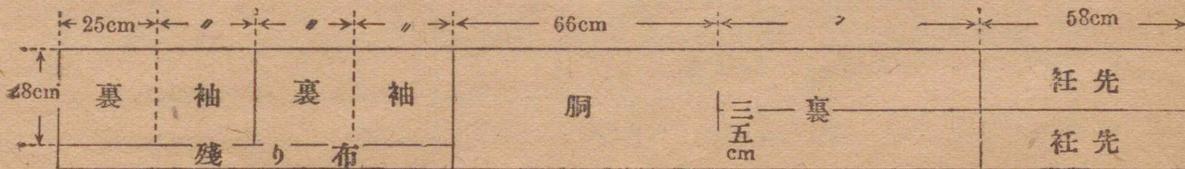
廣幅物の裁方 (幅72cm 丈170cm) 嬰兒用

裾廻及袖口紐の裁方

(幅36cm 丈165cm)



胸裏の裁方 (並巾丈290cm)



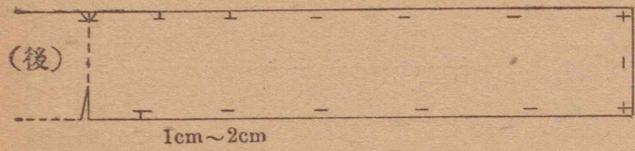
地質

柄

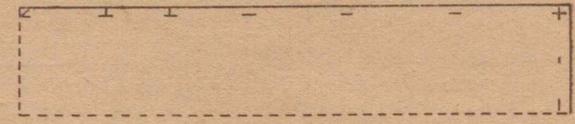
色合

標 附 方

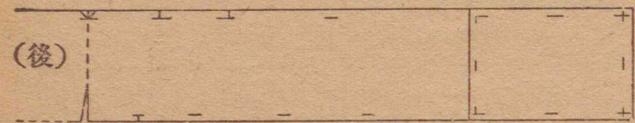
表 見 頃 (前)



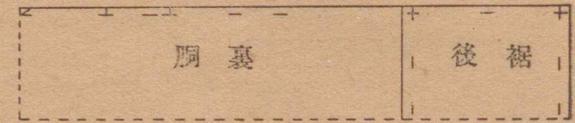
表身頃(後) 身丈は正しく裁切る



裏 身 頃 (前)



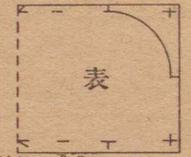
裏見頃(後)



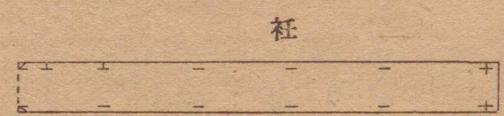
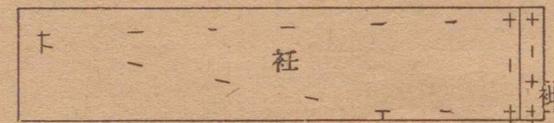
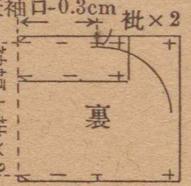
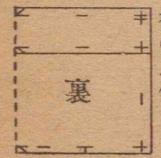
潤 袖



元 祿 袖



筒 袖



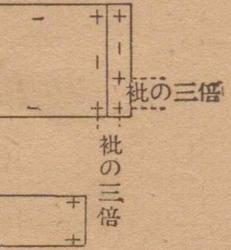
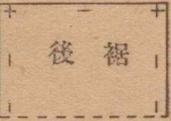
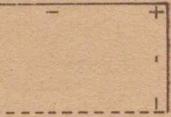
衿の三倍

衿の三倍

衿の二倍

縫方順序

裁切る



- 綿の種類
- 1 真綿
 - イ 袋綿……袋状に作つてある。
 - ロ 角綿……角状に作つてある。
 - ハ 吹止綿……衣類の形に作り、吹き出ぬやうに膠液ををかけてある。
 - 2 木綿綿
 - イ 青梅綿……普通150グラムから300グラム迄を(5.6種ある)三枚に作り1包にしてある。
 - ロ ドテラ綿……普通一枚の大きさは幅75cm 丈155cm位。

- 綿の良否
- 1 真綿……色白く、光澤があつて筋がなく、平均にのびてゐて質の強いもの程よい。
 - 2 木綿綿……色白く、弾力があつて、繊維のよく揃つて長いものほどよい。

- 真綿の伸し方
- 1 袋綿……袋の一方に鉄を入れてよくほぐし一枚づつ剥ぎとりむらなく平均に伸す。
 - 2 角綿……耳をよくほぐして袋綿と同様に伸す。

- 綿の取扱方注意
- 1 真綿
 - イ むらのないやうに平に伸してゆるやかに入れる。
 - ロ 糸屑をつけぬやうにする。
 - ハ ふきどめ綿は膠液のついてゐる方を表にあてゝ入れる。
 - 2 木綿綿
 - イ 繊維を縦に用ひる。
 - ロ 接目は薄く伸して目立たぬやうに厚さを平均に入れる。
 - ハ ゆるやかに入れる。
 - ニ 綿屑を出さぬやうにする。

綿
木綿綿
青梅綿
外に真
ドテラ綿
外に真
裾
裾襪の中に
作り方と同
裾襪の綿も
を加減する

綿の分量

木綿綿

青梅綿一、二枚

外に真綿少々

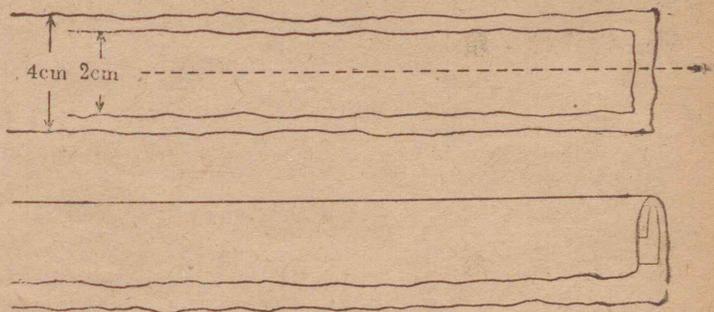
ドテラ綿 一枚

外に真綿少々

裾襦の綿

裾襦の中に入れる綿はふくみ綿の
作り方と同じでよい。ふくみ綿も
裾襦の綿も綿の厚薄によつて、枚数
を加減するのがよい。

ふくみ綿の作り方



ふくみ綿の幅及丈

幅

4 cm 1枚

2 cm 1枚

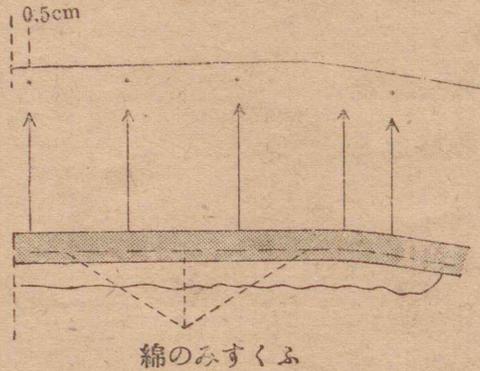
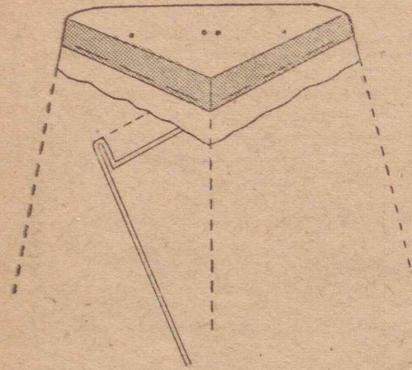
丈

明きの長さに

ゆるみ 2cm

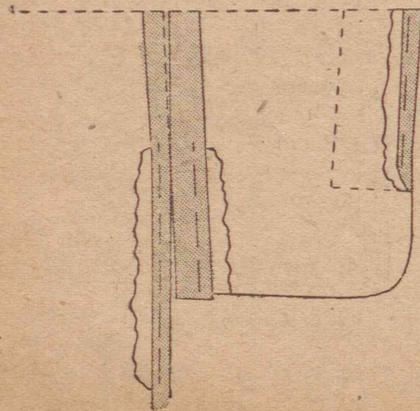
内外を加へる

綿の含ませ方

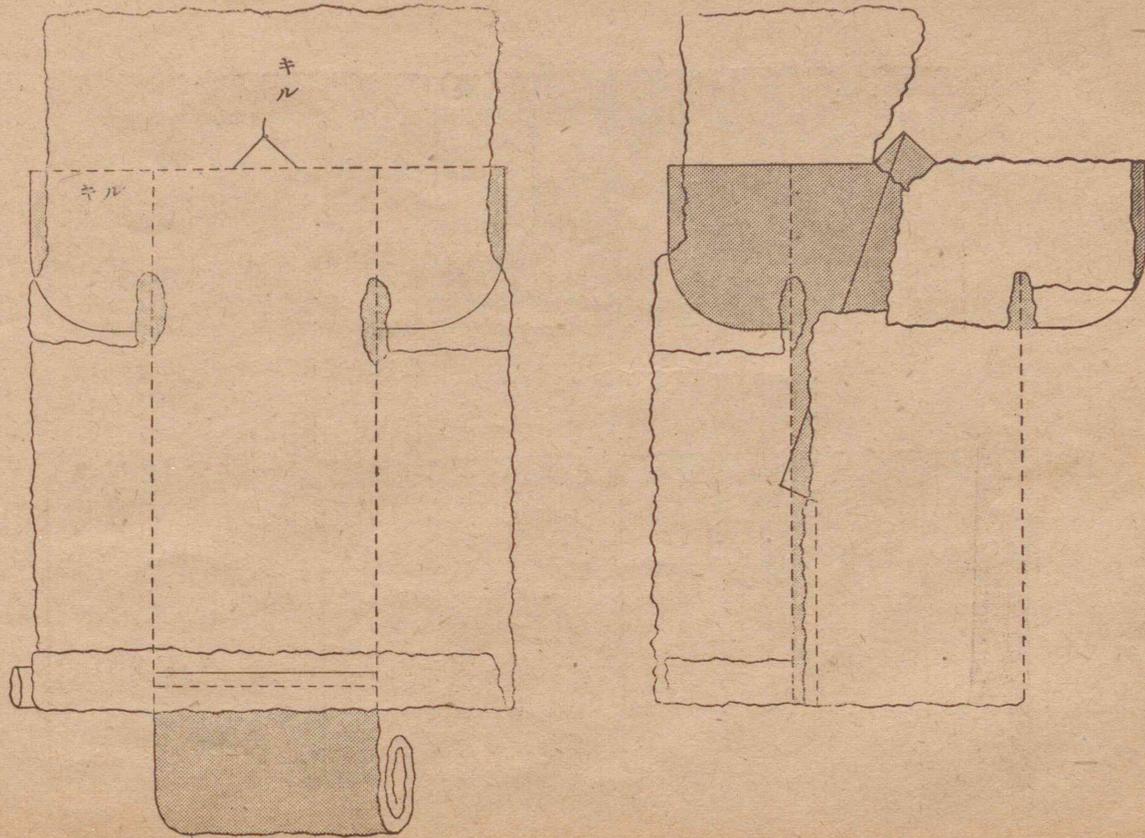


ふくみ綿の注意

- 1 含み綿は布の折山によくはいるやうにゆるやかに入れる。
- 2 糸は布と同色のすべりのよいものを用ひる。
- 3 斜に針を出すやうにして糸は引き締めぬ様にゆるやかに綴ぢる。
- 4 縦目はきせがとれぬやうに針目をだして押へる。

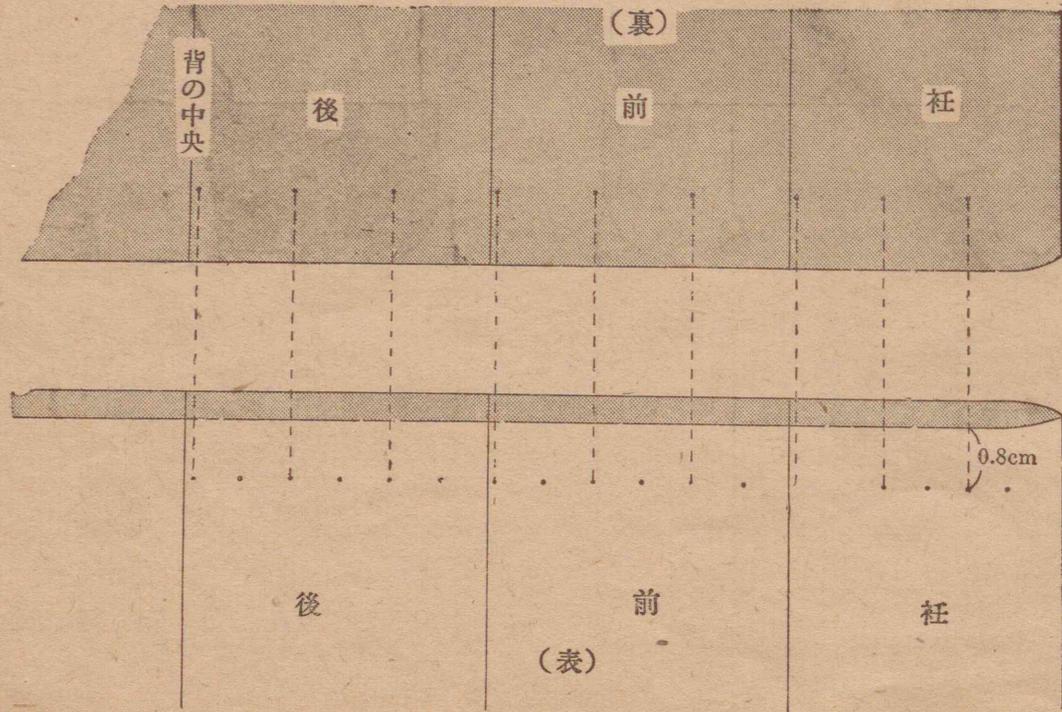


綿の入れ方



やう
のを
き縮
をだ

裾綴の仕方

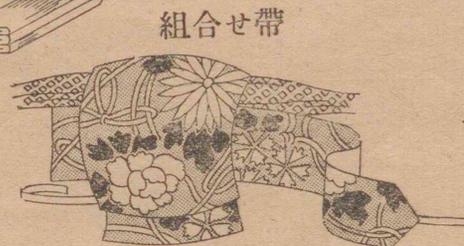


(高二—36)

種類	丸帯
丈	420cm位
幅	32cm位

7 帯

帯の種類



帯の丈と幅

種類	丸帯	合せ帯	子供帯	男帯	兵古帯		名古屋帯
					大人用	小人用	
丈	420cm位	380cm位	300cm位	380cm位	400cm位	300cm位	340cm位
幅	32cm位	30cm位	16cm位	9cm位	55cm位	35cm位	

合 せ 帯

地 質

綿 織 物	更紗, 綿縞子, 縮, 等	
絹 織 物	羽二重, 壁羽二重, 富士絹, 縞子, 博多, 鹽瀬, 絹縮緬, 絹, 紗, 唐織, 糸錦, 緞子, 縞珍, 等	
毛 織 物	モスリン	
麻 織 物	本麻, 半麻	
ス 人 交 織	フ 絹 物	羽二重, 博多, 絹, 縞珍, 縮緬, 其他
芯 地	三河木綿, ゴム芯, 等	

柄 及 配 色

- 1 季節・年齢・趣味を考へ、着物に調和よく全體を引立たせるやうなもの。
- 2 合せ帯の兩側は表と裏といふ關係のものではなく、兩側が共に引立ち互に調和のよいもの(黒縞子はすべての色を引立たせる關係から老若の別なく用ひられる。)

衣服との調和

長着の色及地質を考へ着用の場合にふさはしいもの。

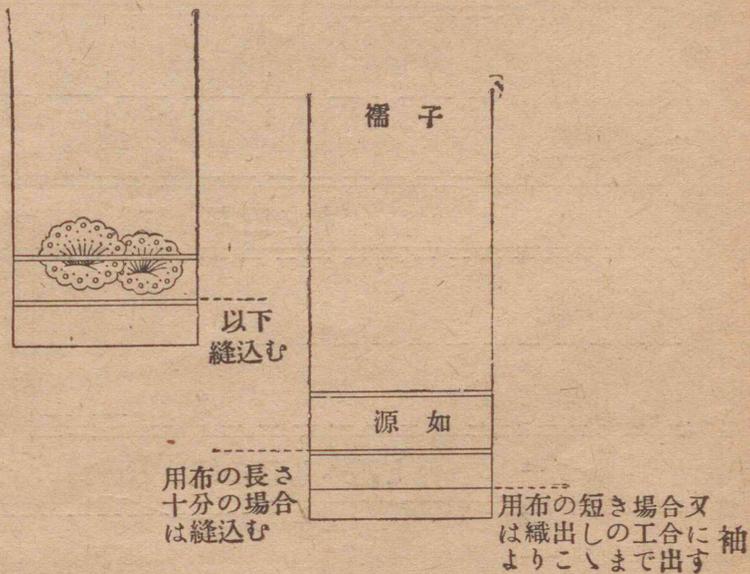
地 直 し

- 1 耳の釣れ深くなから心持いものは糸のどこ伸す)
- 2 裏から全斗をかけ
- 3 人造絹糸指で耳をものは湯

地直し

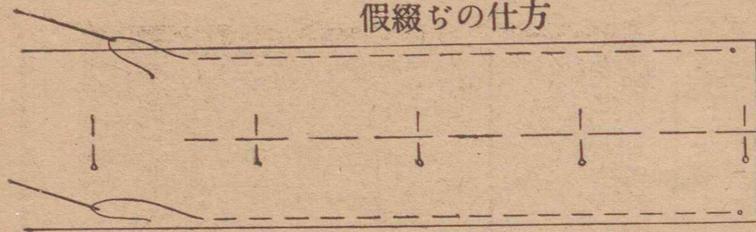
- 1 耳の釣れてゐるものは縫代から深くならないやうに注意して、中から心持ゆるく伸す(鋺で伸びないものは5cmおきに少し斜に耳糸のところだけ切込み更に鋺で伸す)
- 2 裏から全體にアイロン又は火熨斗をかける。
- 3 人造絹糸織物は鋺を用ひないで指で耳を伸す。全體に平でないものは湯伸しをする。

織出し及染出し

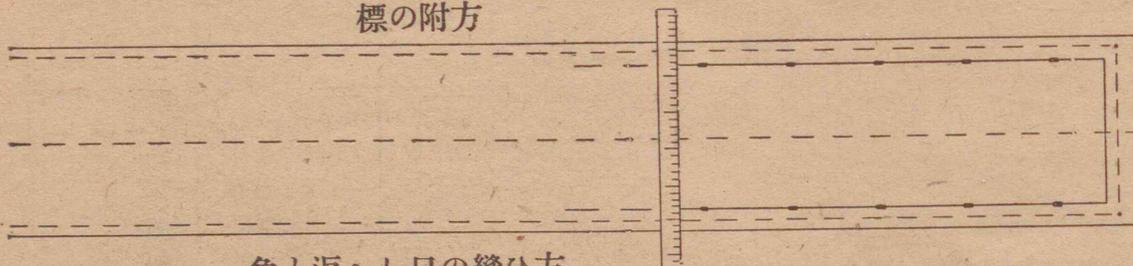


合せ帯の仕立方

假綴ぢの仕方



標の附方



角と返へし口の縫ひ方

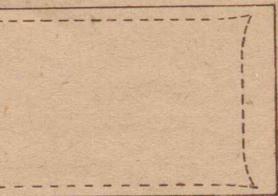
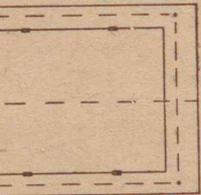


両側の釣合

厚地を下に薄地を上にもた同
地質の場合は幅の広い方を下
に狭い方を上に織出しを揃へ
て幅の中央に待針をする

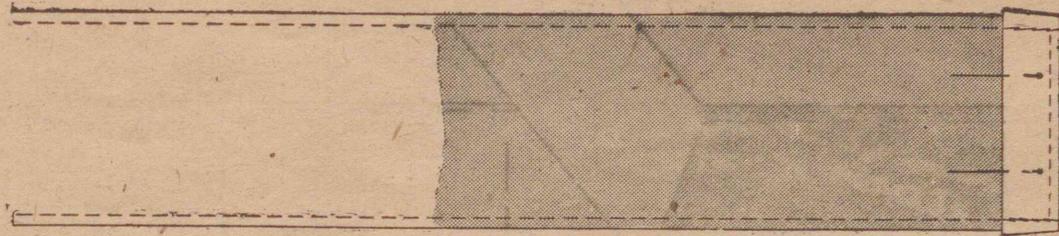
両側の釣合

下に薄地を上にもた同
場合は幅の広い方を下
方を上に織出しを揃へ
中央に待針をする

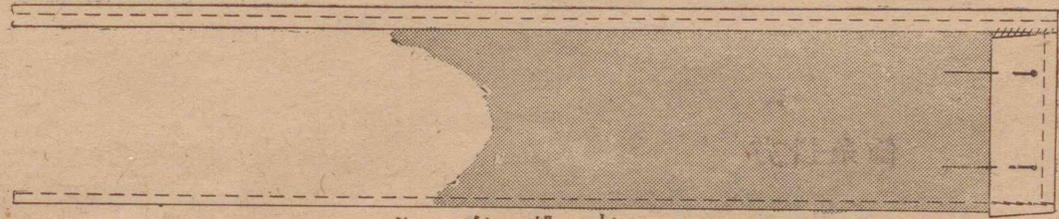


角 綴 方

(1)

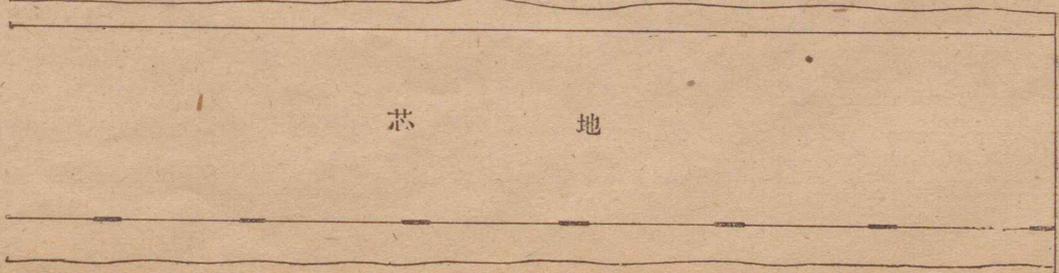


(2)



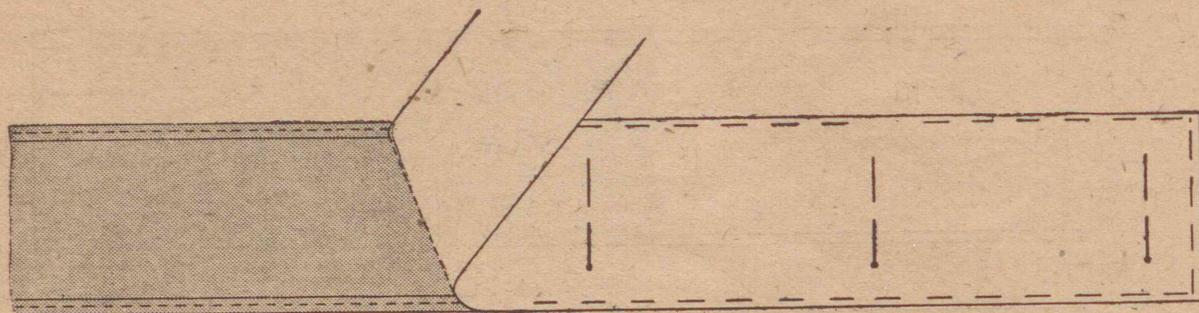
芯 布 裁 方

芯 地

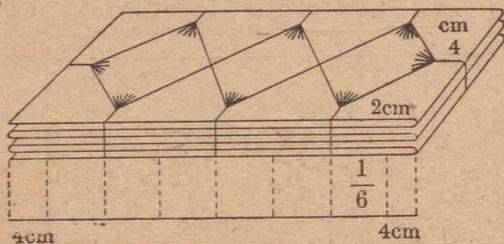


(高二-41)

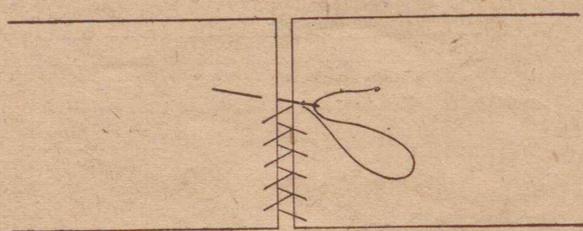
芯の附方



飾糸掛方



芯接方 (突合せ接ぎ)



丈

お太鼓
胴廻り
ポケット

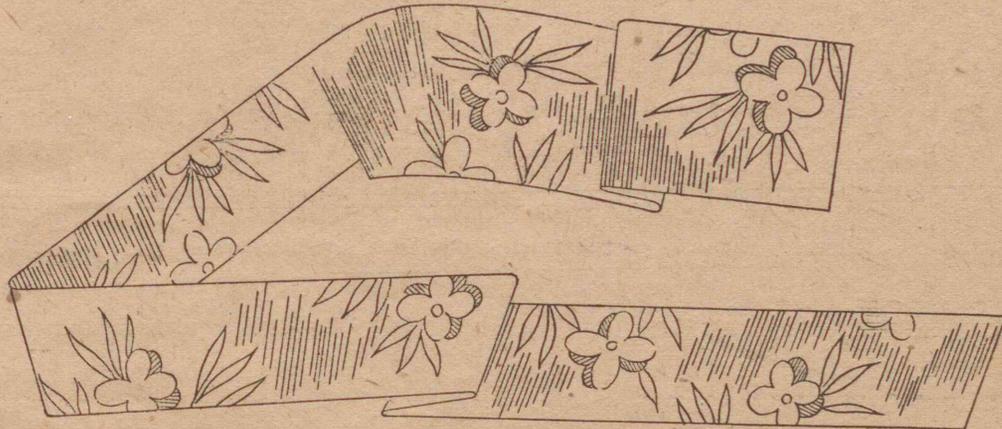
名古屋帯

丈

幅

お太鼓	}	一重太鼓	約 120cm
		二重太鼓	約 150cm
胴廻り			約 220cm
ポケット			約 30cm

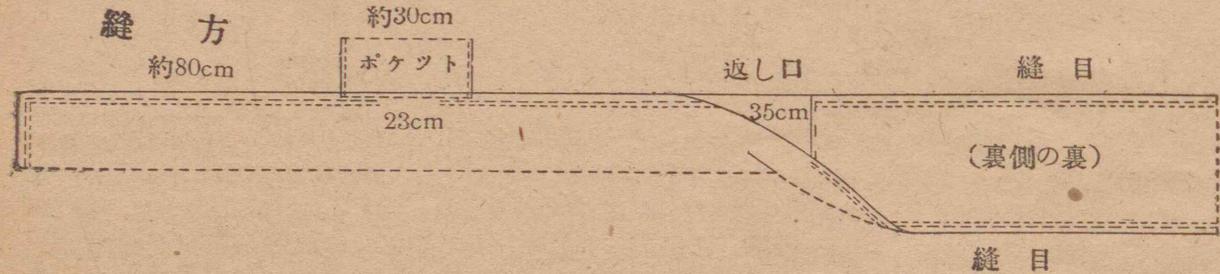
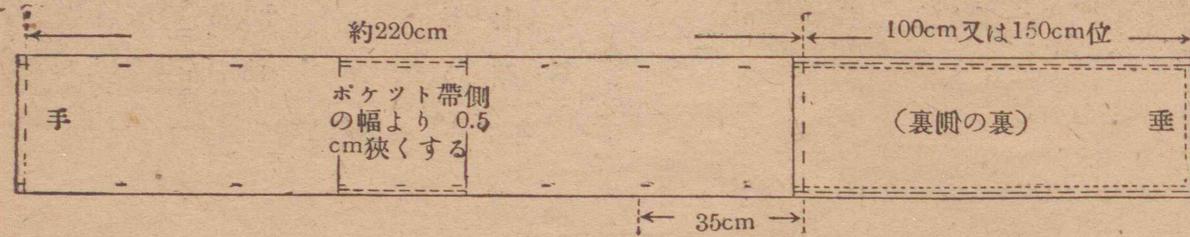
お太鼓	30cm
胴廻り	15cm (幅を広くして引返し口の 間で斜にすることもある)
ポケット	胴廻りの帯幅より 0.25cm 狭く



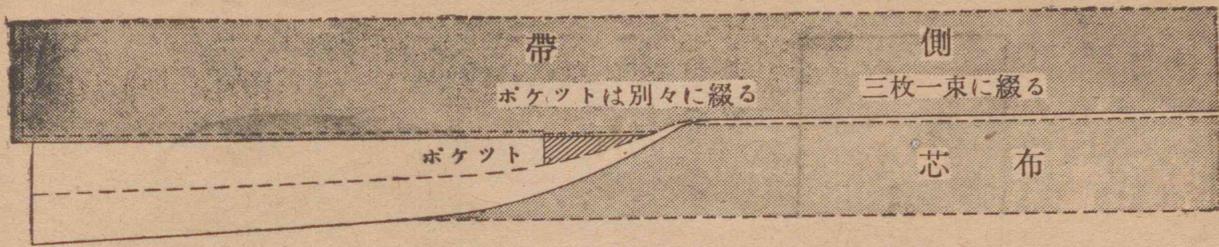
接ぎ)

名古屋帯の仕立方

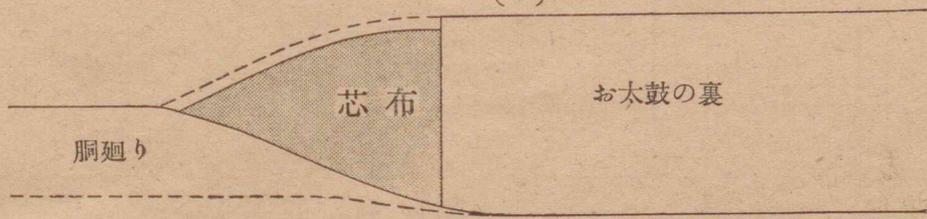
綴方標附方並にポケットの縫附方



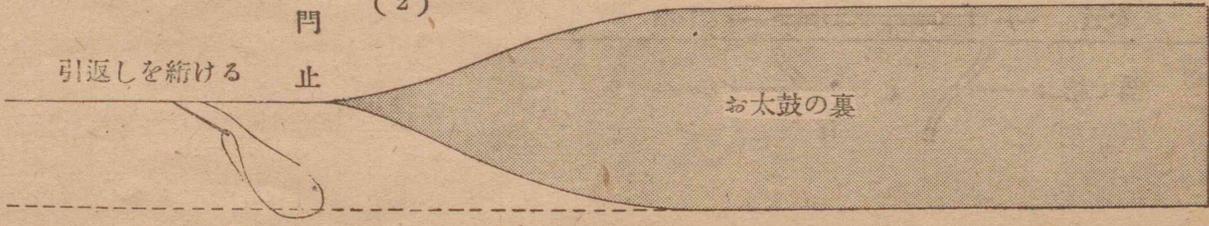
芯の附方 お太鼓は合せ帯に同じ返し口は丈の釣合を見ておく



返し口の始末 (1)



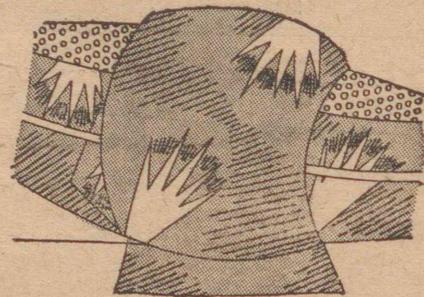
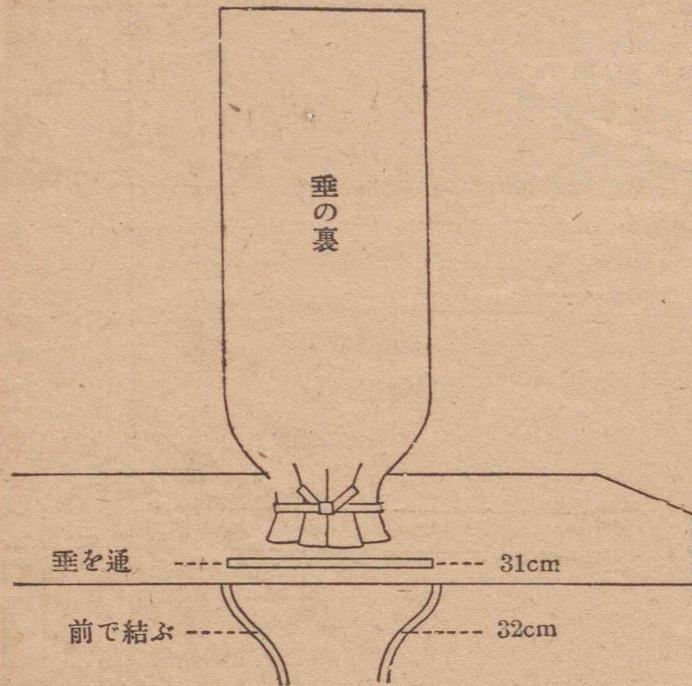
(2)



は150cm位
 裏) 垂

縫目
 側)の裏)
 目

組 合 は せ 帯



(高二-46)

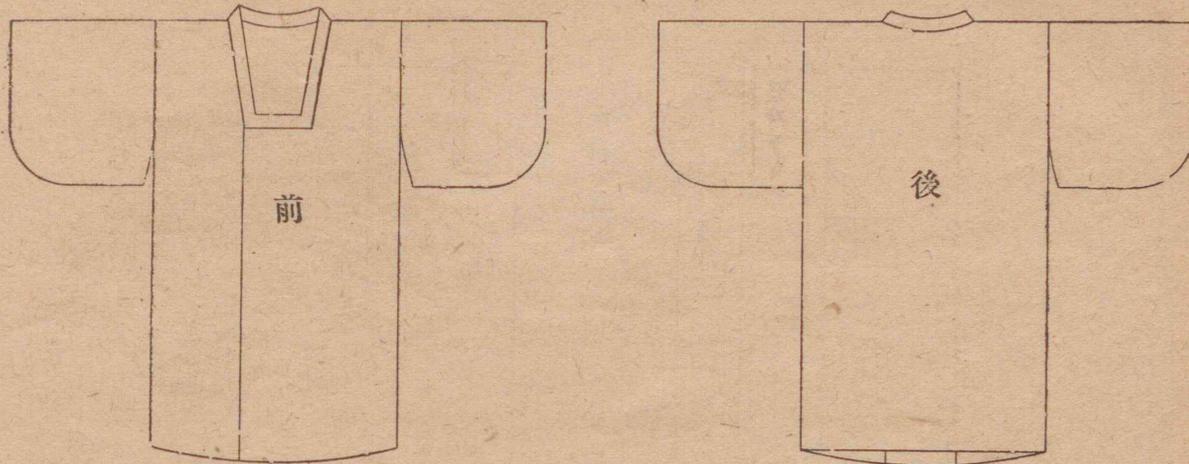
廣巾

←42cm

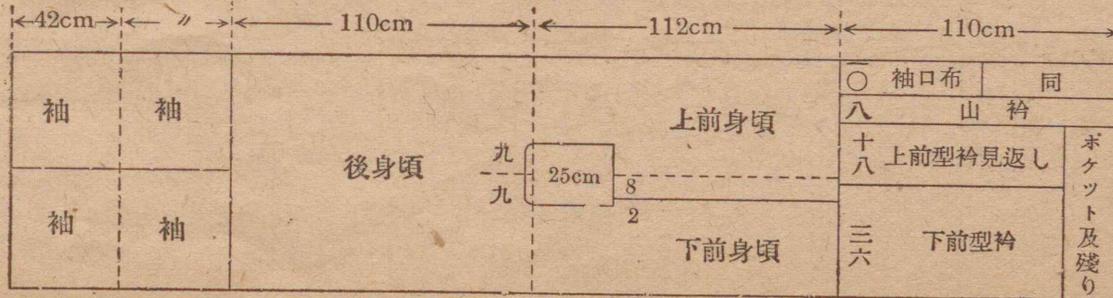
袖

袖

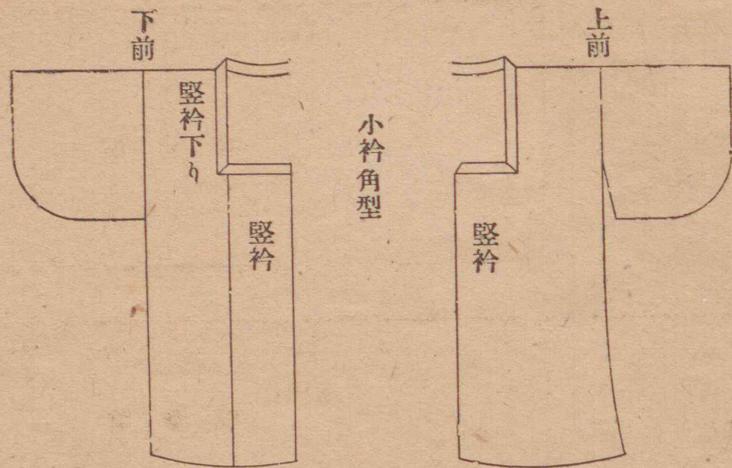
8 仕 事 着



廣巾72cm 丈416cm

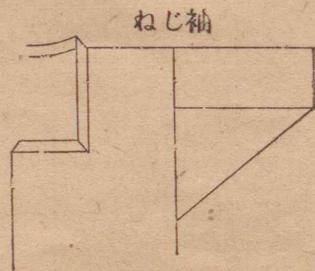
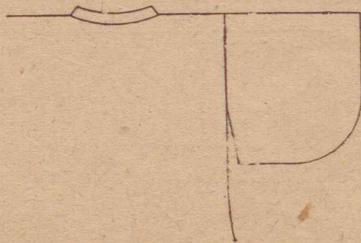
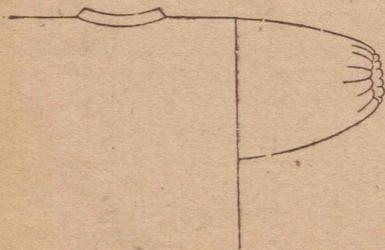


名稱

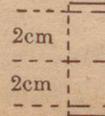


小衿角型

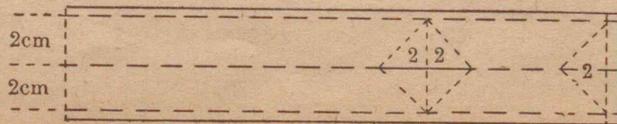
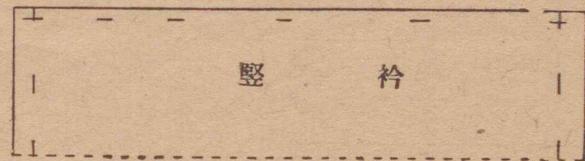
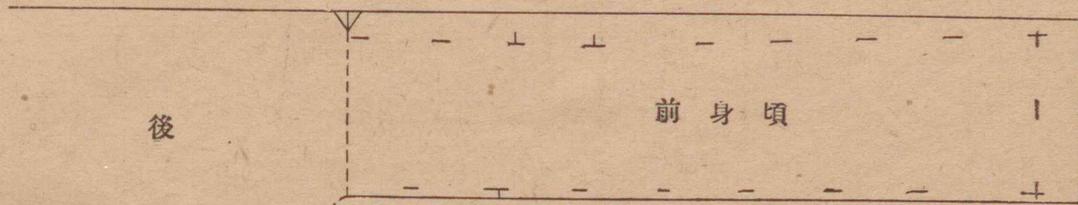
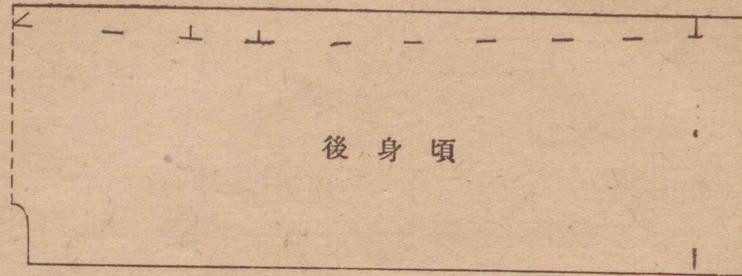
の變化



(高二—48)

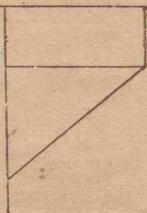


並幅物の標附

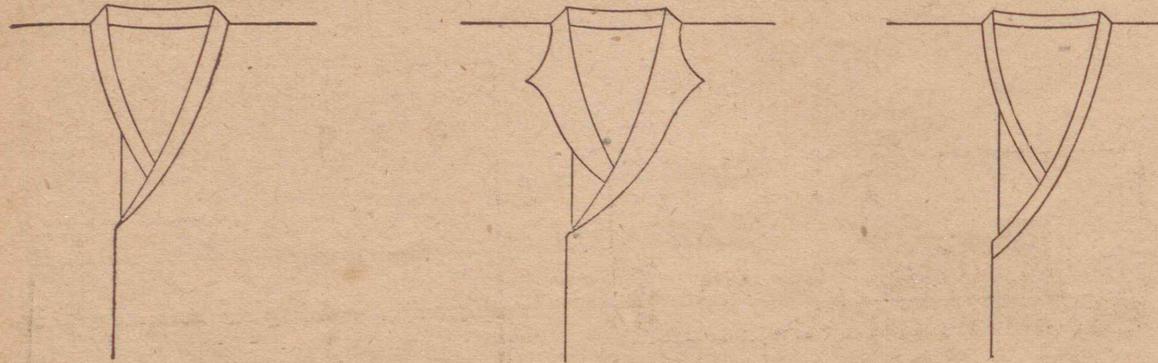


(高二-49)

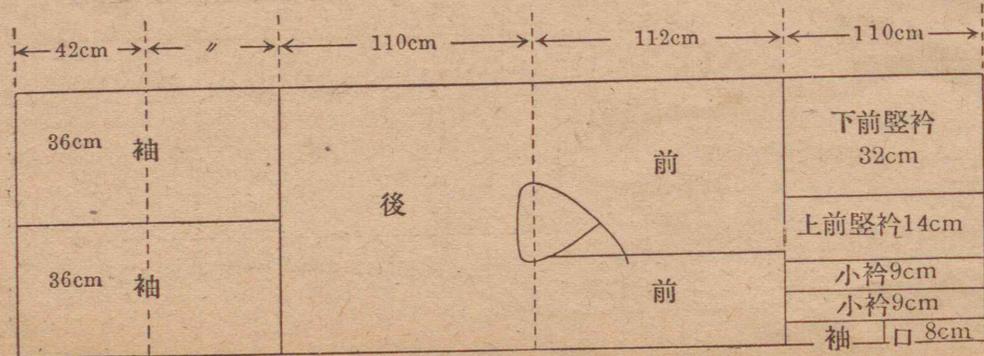
ねじ袖



衿の變化

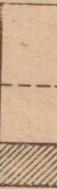


へちま型裁方

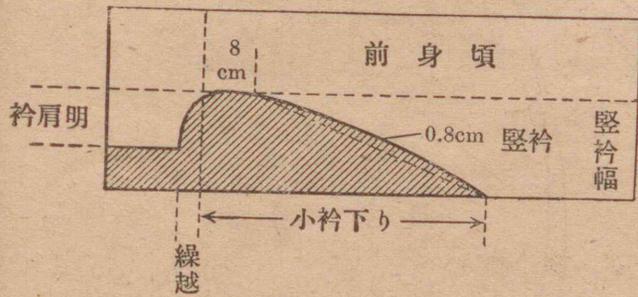


(高二—50)

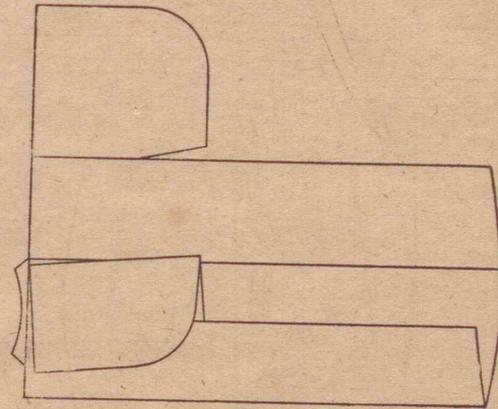
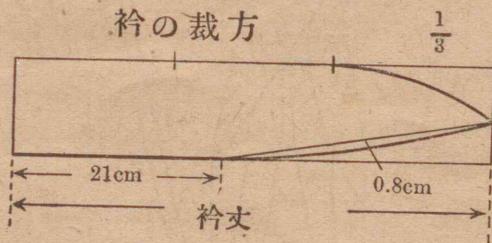
衿肩明



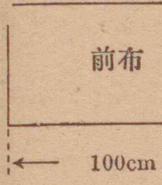
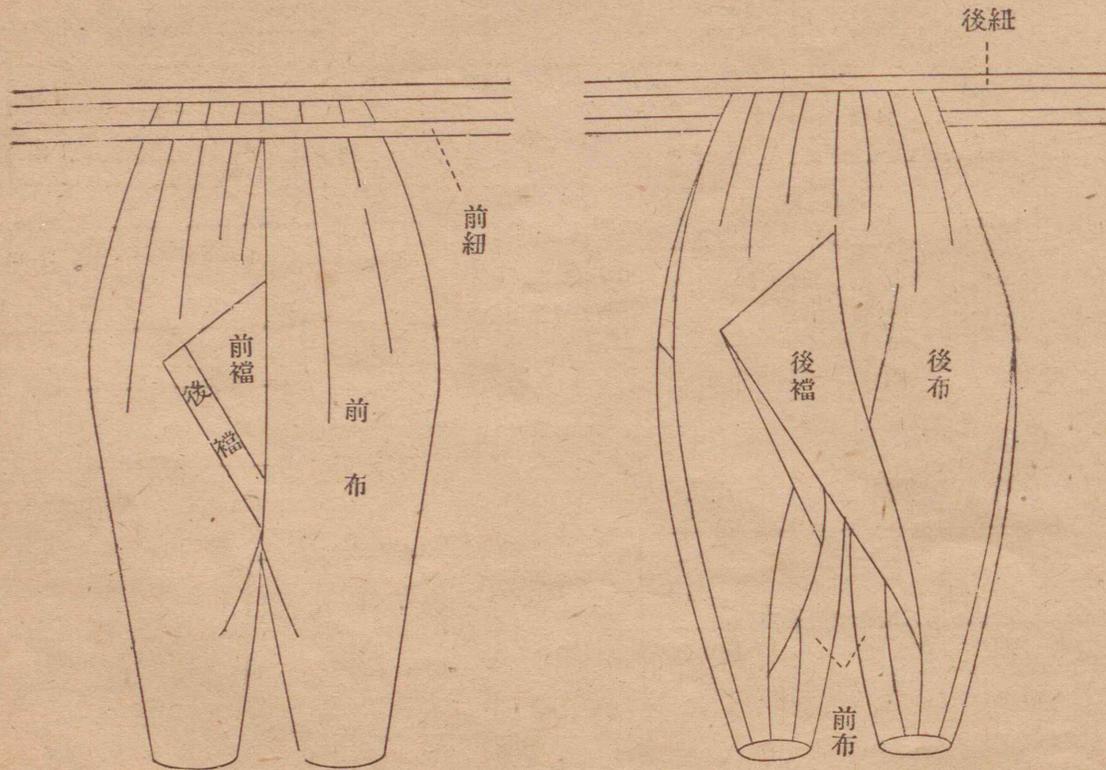
疊み方



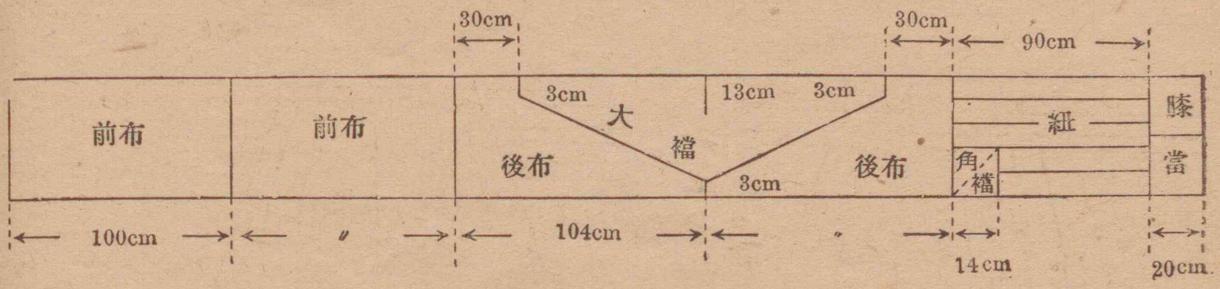
衿の裁方



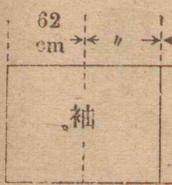
9 モ ン ペ



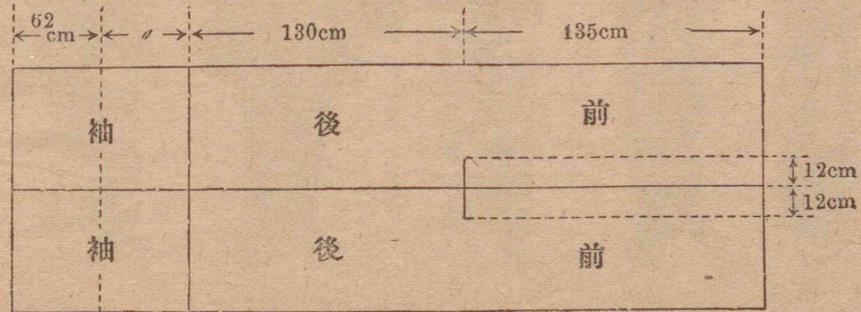
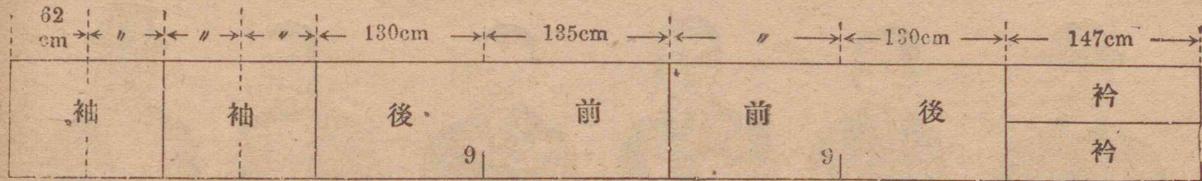
モ ン ペ 裁 方



10 長 襦 袷



女物長襦袢の裁ち方



11 禮 服



白鬘

絹袴

白足袋

フェルト草履
紋付羽織袴



社交背廣



モーニングコート

シルクハット



フロックコート



タキシード



燕尾服



爽服



燕尾服



喪服



喪服



白襟紋付



イブニングドレス



アフタヌーンドレス



ウェディングドレス
(結婚式服)

男女禮服相互の關係一覽表

燕尾服

{ 公式の場合
拜謁, 夜會, 晚餐會, 舞
踏會, 觀劇會, 音樂會 }

タキシード

{ 非公式の場合
晚餐會, 觀劇會, 音樂會 }

フロックコート

{ 拜謁, 天機奉仕, 御機嫌
伺 御禮言上, 御櫻並觀
菊の御宴, 普通の儀式,
宴會 等 }

モーニングコート

フロックコートの場合に
同じ

和服紋付, 羽織, 袴

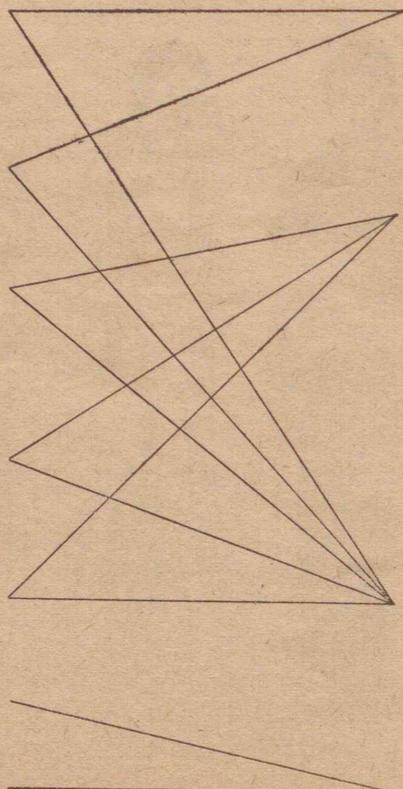
公式以外の禮裝

社交背廣

普通の訪問, 普通の宴會

和服縞物, 紋付羽織, 袴

社交背廣に同じ



イブニングドレス

{ 正式の場合
晚餐會, 夜會, 舞踏會 }

アフターヌードレス

晝間の儀式, 會宴, 園遊
會午後の訪問服
我國では日没後の儀式宴
會にも着用する

白襟, 紋付丸帯

公式の場合又は其外の禮
裝觀櫻並觀菊御宴の場合
特に差許される

訪問服又は(紋付羽織, 縞物)

儀式的訪問以外の場合

名 稱	
大禮服	
通常禮服 (燕尾服)	
略式禮服 (タキシード)	
通常服 (フロックコート)	
訪問服 (モーニングコート)	
備 考	

男子禮服 (洋服)

名稱	帽子	衣	袴	チヨツキ	シャツ	カラー	ネクタイ	手袋	帶劍	靴
大禮服	船形	定式による 明治廿九年九月規定	定式による	定式による	白無地 白釦	白色、立衿 又は折衿	白色蝶形 一文字結	白革	定式による	黒革 エナメル
通常禮服 (燕尾服)	絹帽	黒羅紗	衣と同一	衣と同一 又は白	同上	同上	同上	同上		同上
略式禮服 (タキシード)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		同上
通常服 (フロックコート)	同上又は 黒山高	同上	縞	黒又は白	白無地	同上	色形共隨意 たゞ白は用 ひない。	鼠又は茶		同上
訪問服 (モーニング グレート)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			同上
備考	大禮服の帶劍は凶事の場合は其の柄も黒紗で包む。 フロックコートの袴は凶事の場合は黒を用ひるのがよい。									

女子禮服 (洋服)

	名 稱	着用の場合	服 地	袖	手 袋	帽 子	首 腕 飾 輪	扇	靴	外 套
宮 中 大禮服	マ ン ト ー ド ク ー ル	新年拜賀, 特別大禮 一般の大禮服, 御議 式, 御賜宴, 參賀, 拜謁, 日没後の正式 禮装, 我國では特に 晝間も差許される	華やかな薄 色の絹地	無	長いの を用ひ る	用ひず 寶玉, 羽毛, 造 花を飾りトレ ーンを後に曳く (ローブアデコル テはトレン を曳かず)	適宜に 用ひる	用ひる	服と同色 又は類似 色の絹靴	無袖の外套 シヨール
宮 中 大禮服	ロ ー ブ テ コ ル テ	宮中での晝間の禮服 御儀式, 夜も兼用する アフターヌーン ドレスの代用を差許され る	濃い落付あ る色の絹地	有 夜の時 は無	用ひる	用 ひ る	適宜に 用ひる	用ひる	服と同色 又は類似 色の短靴	適 宜
宮 中 禮 服	ロ ー ブ テ モ ン タ ン ト	訪問服 拜謁, 御陪食, 觀櫻 觀菊の御宴	同 上	有	用ひる	用 ひ る	同上	用ひ ない	同 上	適 宜
宮 中 禮 服	グ イ シ チ ン グ ド レ ス	訪問服 拜謁, 御陪食, 觀櫻 觀菊の御宴	同 上	有	用ひる	用 ひ る	同上	用ひ ない	同 上	適 宜
民 間 大禮服	イ ヴ ニ ン グ ド レ ス	日没後の正式の禮装 晩餐會, 夜會, 舞踏 會	華やかな薄 地の絹地	無	長いの を用ひ る	寶玉, 羽毛, 造 花を飾り, 帽 子を用ひない	同上	用ひる	服と同色 又は類似 色の絹靴	無袖の外套 シヨール
民 間 禮 服	ア フ タ ー ヌ ー ン ド レ ス	一般の晝間の禮服 (訪問服) 晝間の儀 式, 宴會, 園遊會, 訪問, 我國では日没 後の儀式, 宴會にも 着用する	濃い落付あ る色の絹地	有	用ひる	用 ひ る	同上	用ひ ない	服と同色 又は類似 色絹靴	適 宜
吉	ウ エ デ イ ン グ ド レ ス	結 婚 式 服	白地の絹地	長い	白色の もの を用ひ る	用ひない 白いベールを 曳く	用ひる	用ひな い花束 をもつ	白絹靴	用ひない
凶	喪 服	凶 事 の 服	黒色絹地	長い	黒色の もの を用ひ る	黒い帽子 黒いベールで 覆ふ	黒色の もの 適 宜	用ひ ない	黒革短靴	適 宜

名 稱	着用の場合
紋付, 羽織, 袴	公式以 外の禮 装
縞物 紋付, 羽織, 袴	訪問服

袴

名 稱	着用の場合
白 袴 紋 付 丸 帯	公式の場 合の禮装, 觀菊の場 合, 差許され る
訪問服	儀 式
縞物 紋付 羽織	訪問以外
喪 服	凶

男子 禮 服 (和 服)

名 稱	着 用 の 場 合	帽 子	上 着	下 着	襟	羽 織	帯	袴	足 袋	履 物	扇	外 套
紋付, 羽織, 袴	公式以 外の禮 装	山 高 中 折	黒無地五ツ紋, 羽二重, 七子, 麻,	(冬)白, 又は鼠 小紋, 更紗, 縞 (夏)白	下着の 色合	五つ紋染紋, 黒 羽二重, 紹 紐は白, 平打	角 帯	縞 襠高袴	白	草 履	用ひる	インバ ス
縞物 紋付, 羽 織, 袴	訪問服	山 高 中 折	縞 物	小紋形, 更紗形 縞物	下着の 色合と 似たもの	黒色, 紋の數, 染, 縫紋は際意	角 帯 兵兒帯	同 上	白 紺	草 履 付の 下駄	隨 意	同 上

女 子 禮 服 (和 服)

注 袴 公式の大禮服

名 稱	着 用 の 場 合	上 着	下 着	襟	羽 織	帯	帯 留	足 袋	履 物	扇	外 套
白 襟 紋 付 丸 帯	公式の場合以外 の禮装, 観櫻, 観菊の場合特に 差許される	黒又は色物 の模様物五 つ紋付	白又は上着 と同色	白	用ひない	丸 帯	丸 留, 白	白	草履, キル ク, フェレ ト, 墨又は 布表	用ひる	コート
訪問服	儀 式 的	色物の模様 物縫紋三つ 紋, 一つ紋	適 宜	白 色 物	用ひない	丸 帯	金 具 付 紐	白	草 履	隨 意	コート
縞物 紋付 羽織	訪問以外の場合	縞 物		模 様 物	用ひない	合 せ 帯	打 紐		下駄の時は 表 付		
喪 服	凶 事	黒 無 地	白	白	用ひない	黒の丸帯	黒又は白の 丸 留	白	草 履	用ひる	コート

12 各種羽織普通出來上り寸法

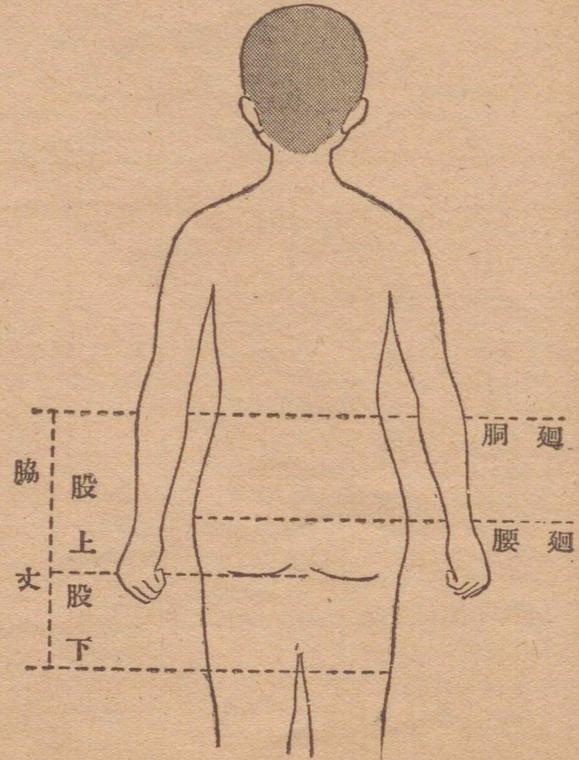
	袖無羽織	小 裁	中 裁	大裁女物	大裁男物
袖 丈		27cm~50cm	30cm~60cm	68cm~53cm	53.5cm
袖 口		13	15	23	27~30
袖 附		15~17	17~19	19~27	53.5
袖 幅		24	28~30	32.5	33
身 丈	50cm	65	75	95内外	105内外
衿 肩 明	4	4.5	6	9	9
身 八 ッ 口		8	9	10	
脇 明	20~23				
前 下 り	1	2	3	4	4
後 幅	いつばい	いつばい	25	28	30
紐 附	20	22	24	32~36	32
襷 幅 上下	4	3	2	1.5	
	6	6.5	6	6.5	7
衿 幅	4	4.5	5	6.5	7
衿				62	66
背 紋 下 り	3.5	4.5	5	6	6
袖 紋 上 り		6	7	7.5	7.5
抱 紋 下 り		11	13	15	15

13 半 ズ ボ ン

物	大裁男物
m	53.5cm
	27~30
	53.5
5	33
外	105内外
	9
	4
	30
	32
5	7
5	7
	66
	6
5	7.5
	15

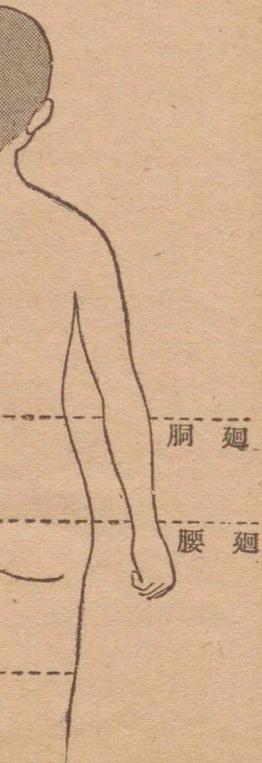
寸法の採り方

出来上り標準寸法				
名稱 年齢	脇丈	股下	股上	$\frac{\text{腰廻}}{2} + \text{ゆるみ}$ (8cm)
三歳	28cm	8cm	20cm	34cm
四歳	30	9	21	36
六歳	34	12.5	21.5	38
八歳	38	15	23	40
十歳	43	18.5	24.5	41
十二歳	50	24	26	43
十四歳	53	26	27	45
歳				



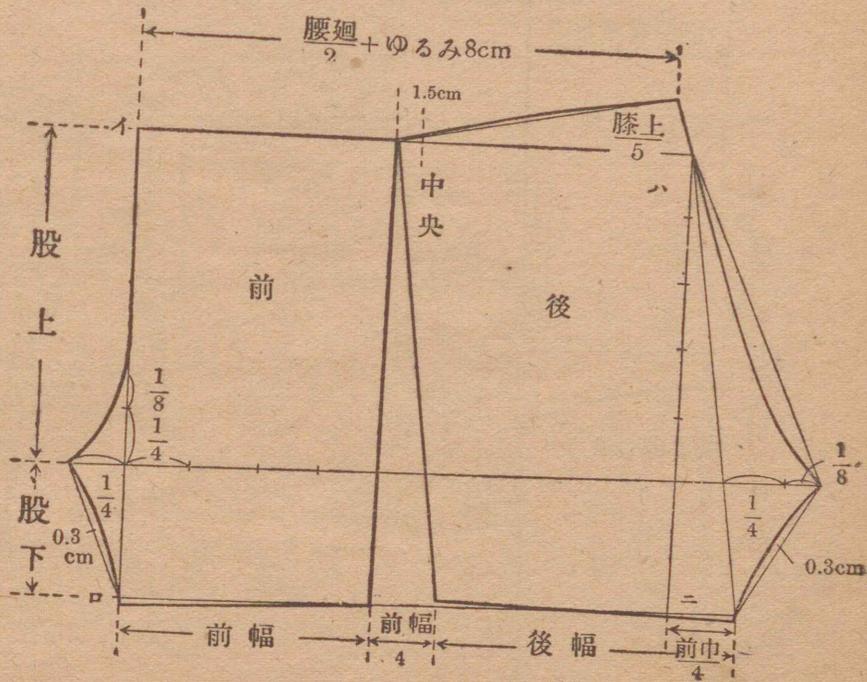
脇丈 = $\frac{1}{2}$
 前後幅 = $\frac{\text{腰廻}}{2}$
 後幅 = 前幅

採り方

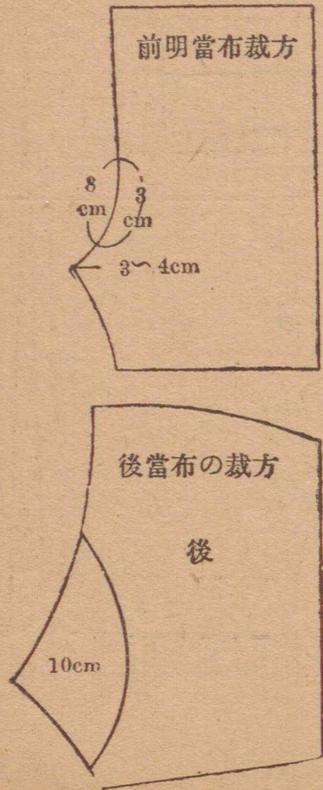


半ズボンの原型取り方

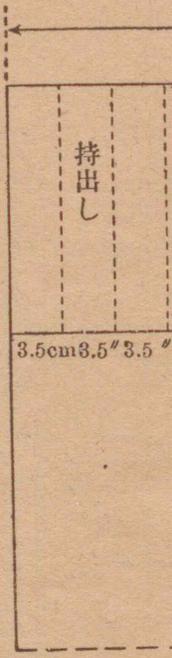
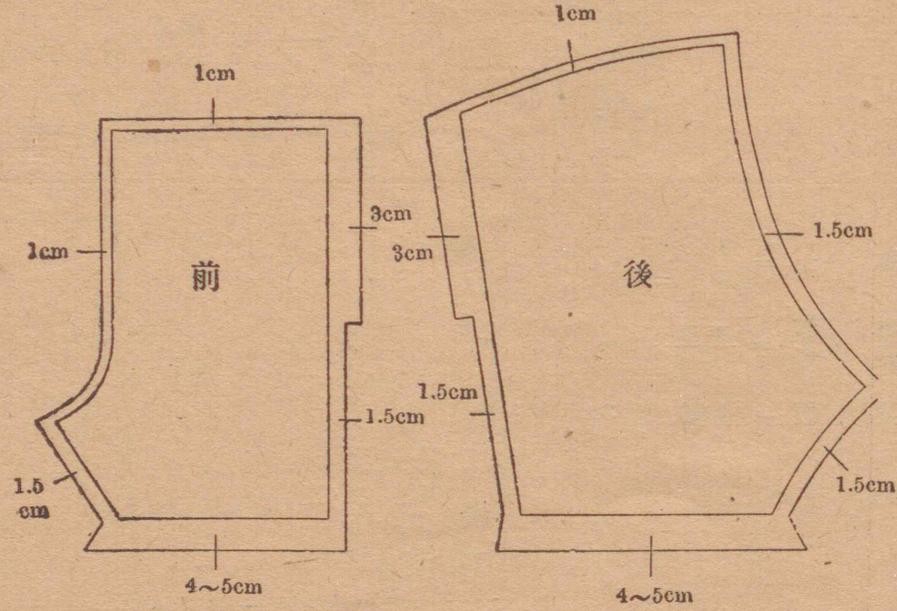
脇 丈 = $\frac{イ}{ハ} \frac{ロ}{ニ}$
 後前 幅 = $\frac{\text{腰廻}}{2} + 8\text{cm}$
 後 幅 = 前幅より 3cm 廣く



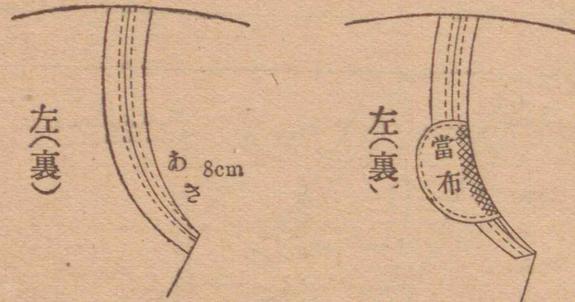
當布の裁方



縫方の附方



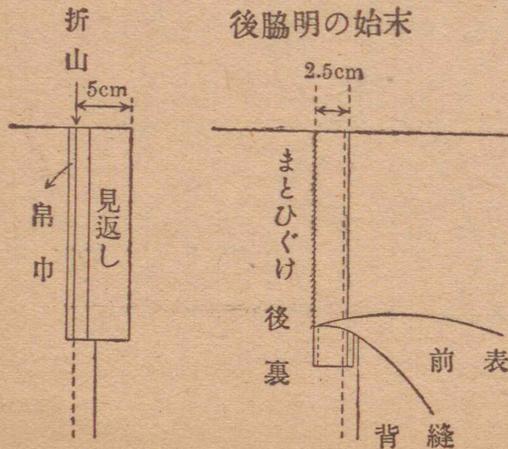
前脰上の始末



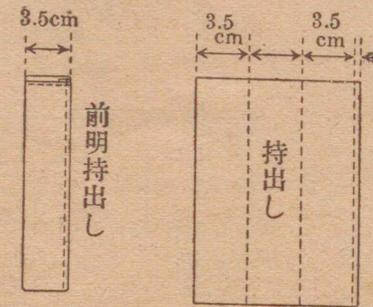
後當布の附方



後脇明の始末

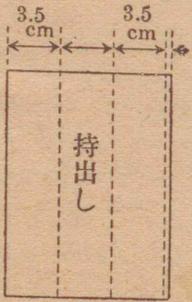


前脇明の始末

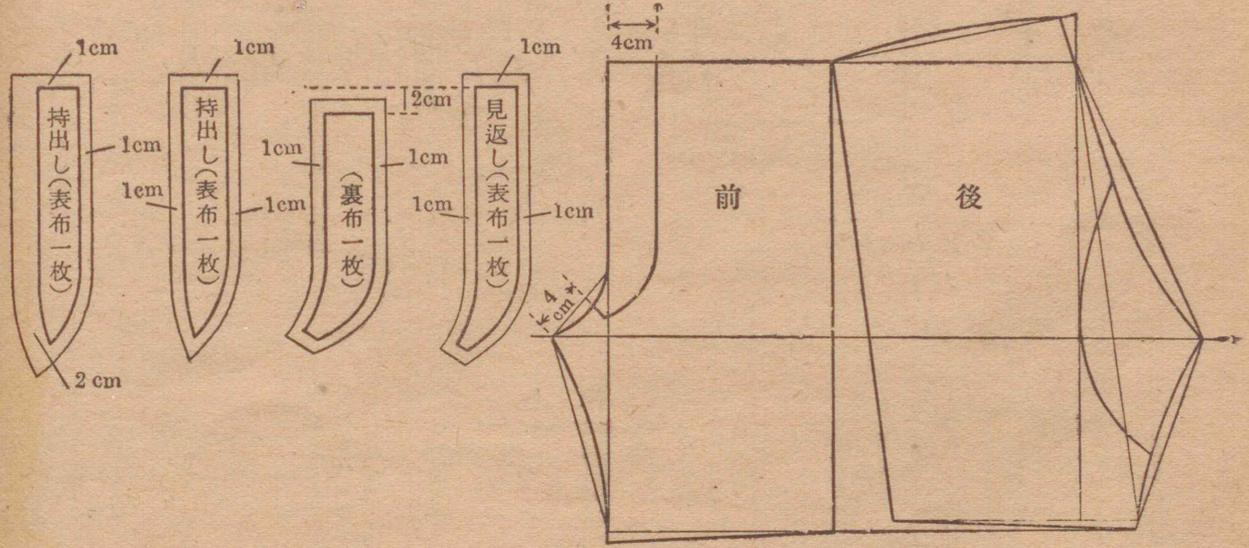


布の附方

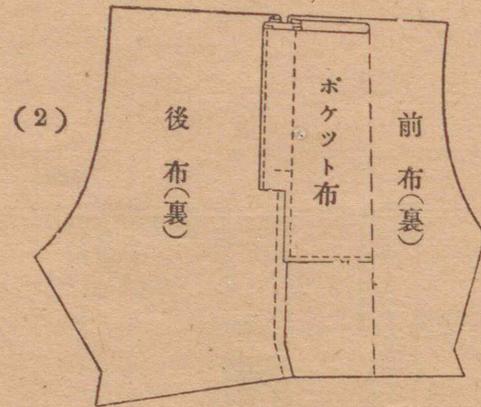
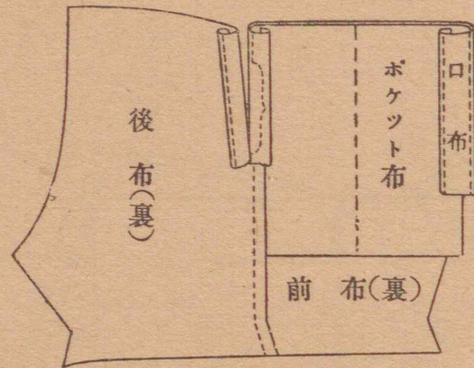
明の始末



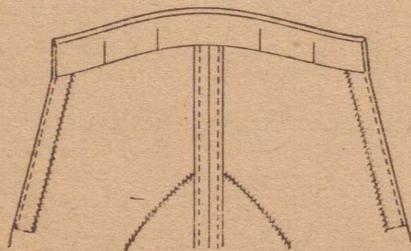
見返し持出しの裁方



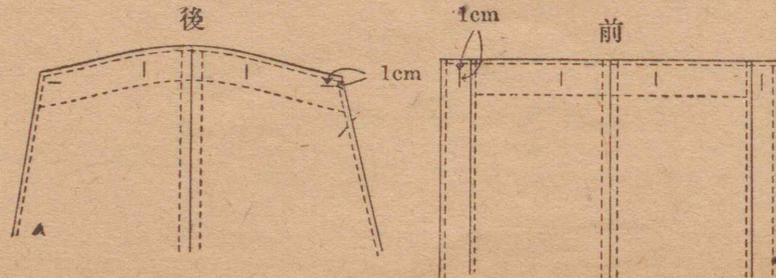
ポケットの附方



後腰布附



穴かがり



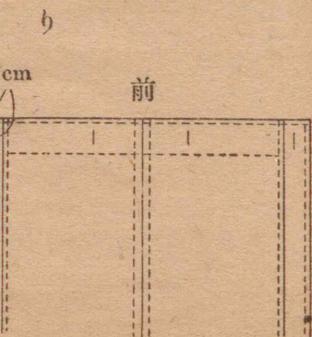
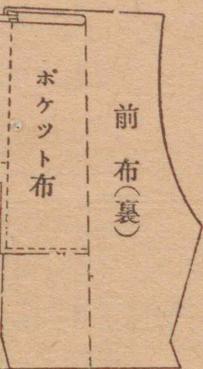
(高二-70)

- 1 前股上
- 2 前明の
- 3 後當布
- 4 後股上
- 5 脇縫
- 6 後脇明
- 7 前脇明及
- 8 後腰布
- 9 前腰布
- 10 股下縫
- 11 裾口の
- 12 仕上
- 13 穴かが
- 14 疊み方

ツボンの縫方順序

- 1 前股上縫合せ
- 2 前明の仕末
- 3 後當布附(毛織物のときは股上を先に合せる)
- 4 後股上縫合せ
- 5 脇縫
- 6 後脇明の始末
- 7 前脇明及ポケットの始末
- 8 後腰布附
- 9 前腰布附
- 10 股下縫
- 11 裾口の始末
- 12 仕上
- 13 穴かがり
- 14 畳み方

(高ニ一七)

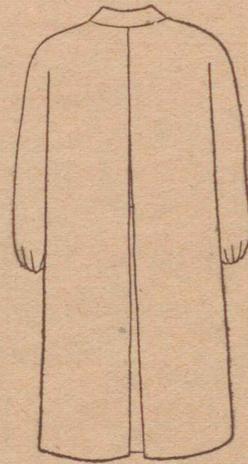
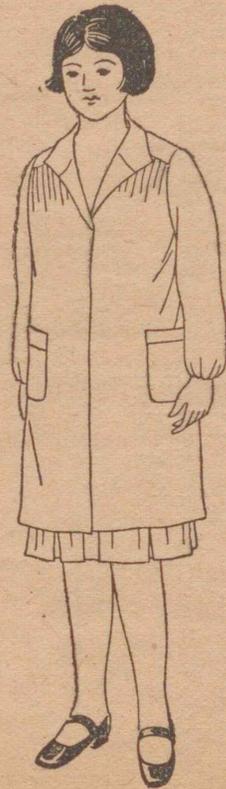


私の作るツボン

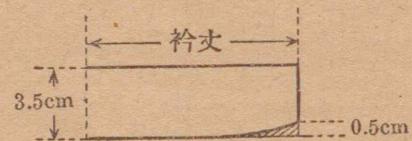
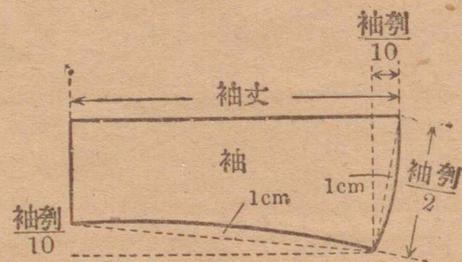
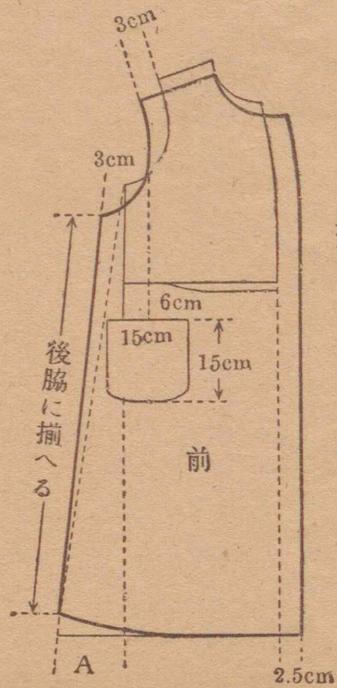
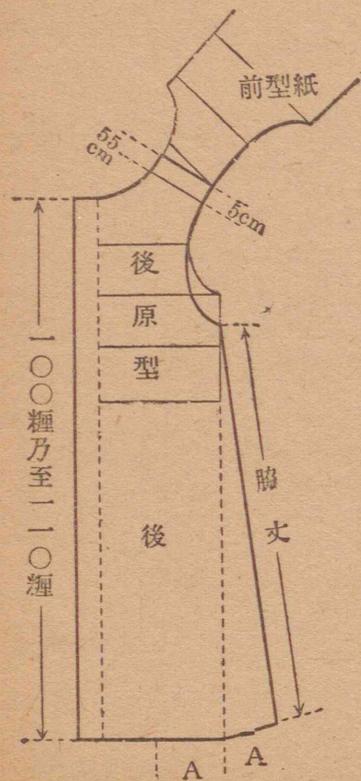
形

(高ニ一七二)

14 作 業 服

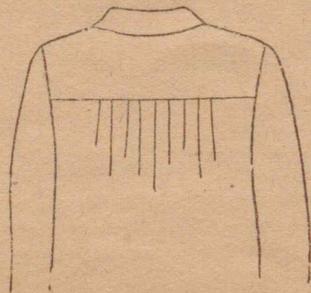


(高二-73)



作業服型の變化

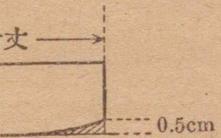
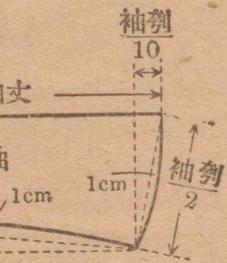
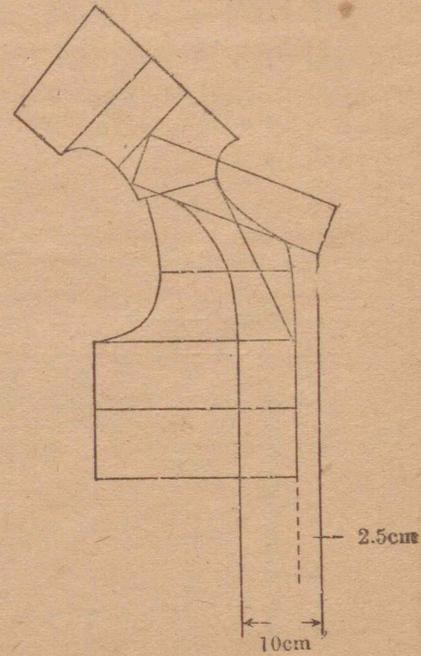
オーバー衿



スポーツ衿

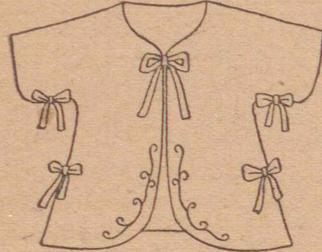


スポーツ衿見返しとり方

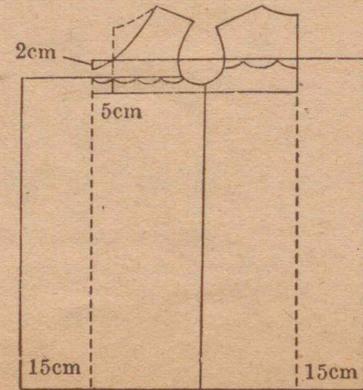
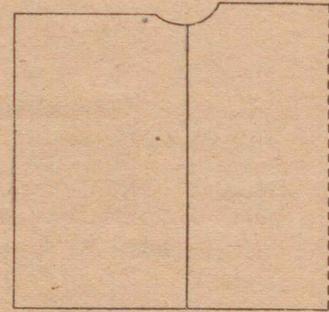
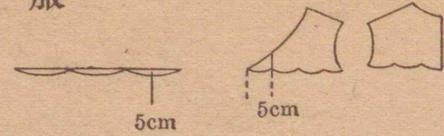
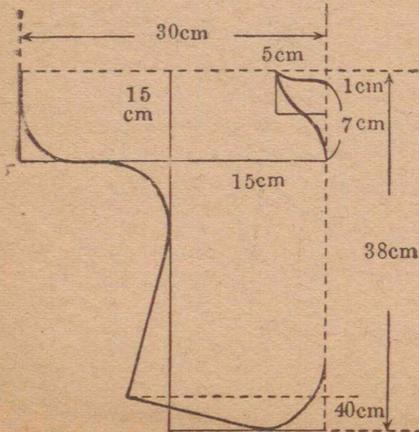


15 嬰 兒 服

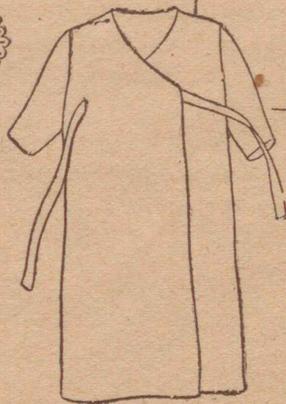
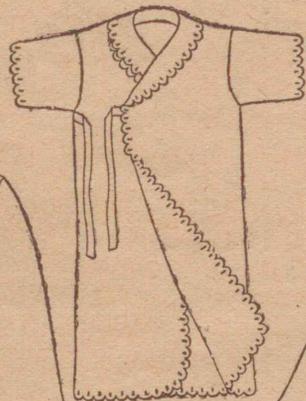
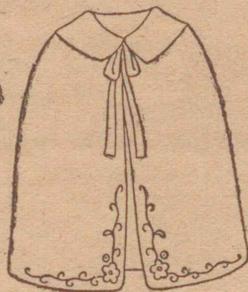
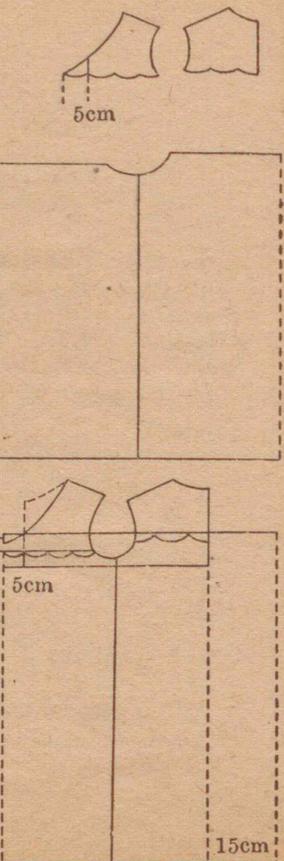
サツクコート



サツクコート裁方



嬰 · 兒 · 服



16 婦 人 服

(高二—78)

(高二 79)

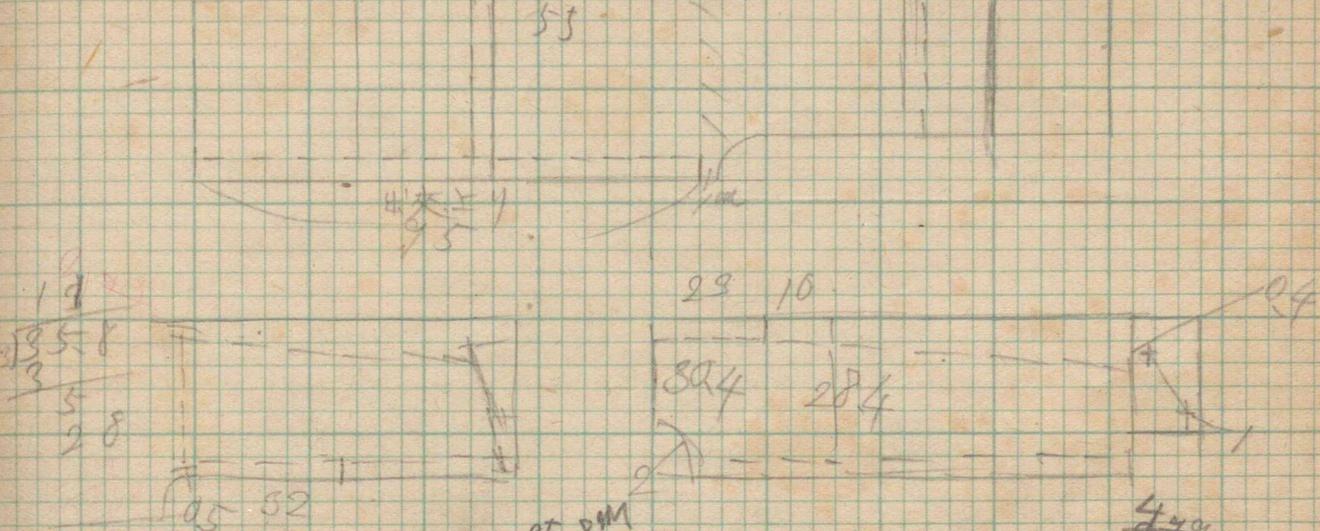
(高二—80)

(高二—81)

(高二 2)

同接

備考



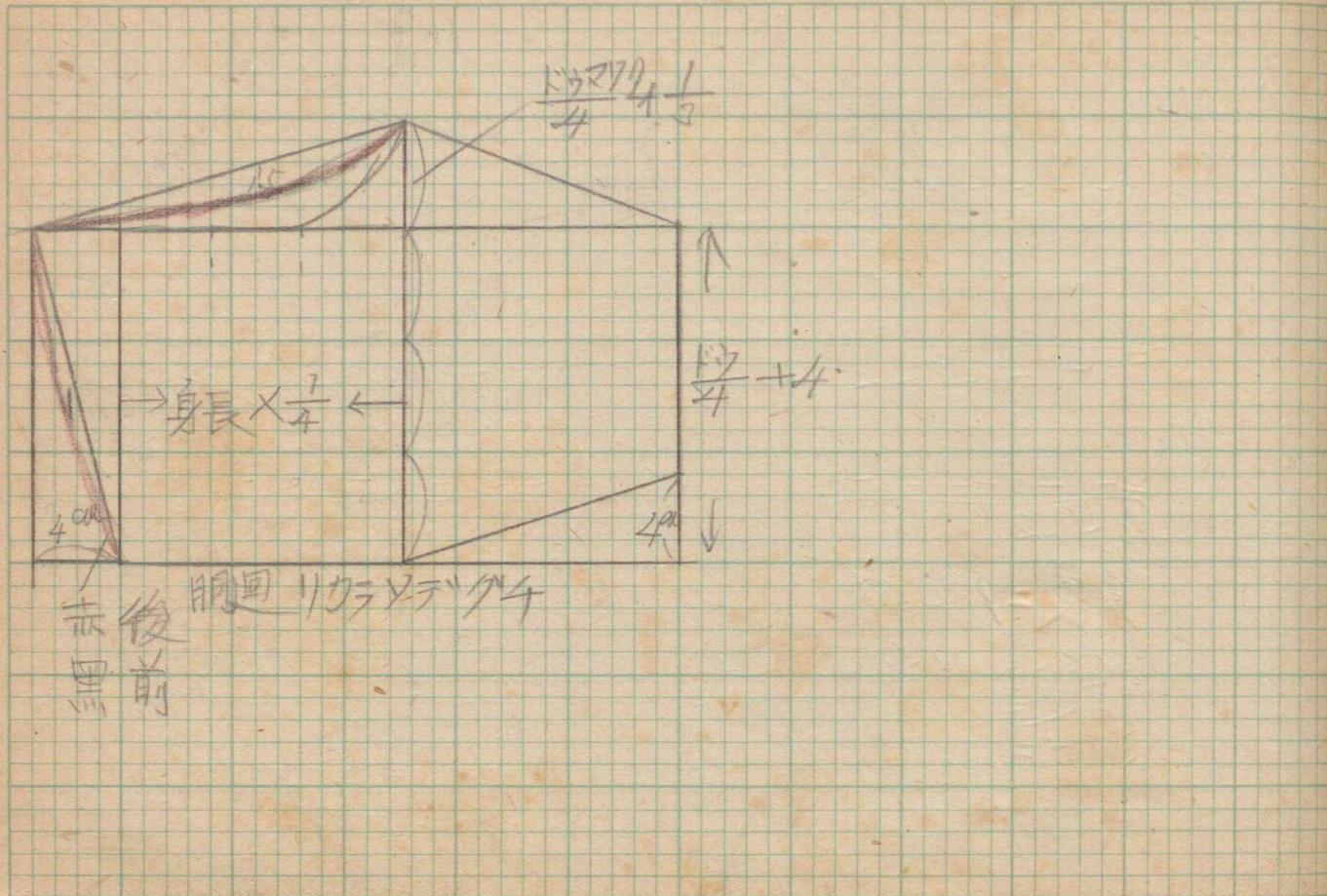
身長 = 7m 43cm 35.8m
 バスト = 80cm 24.2cm 18.5
 胸囲 = 65cm 22.15
 ミタケ = 88cm 40.22 15.4

35.8
 1.43 x

22
 27.6
 3)65
 6
 5
 2
 20
 4.95
 4)35.8
 32
 38
 36

440
 3388
 6
 28
 27
 19
 1
 20
 2150

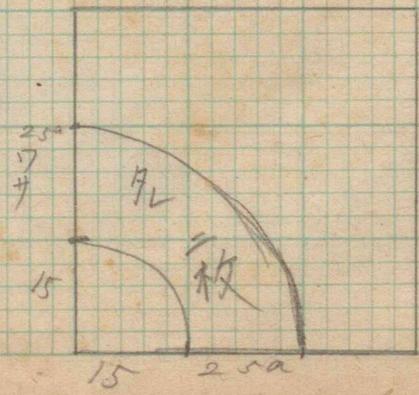
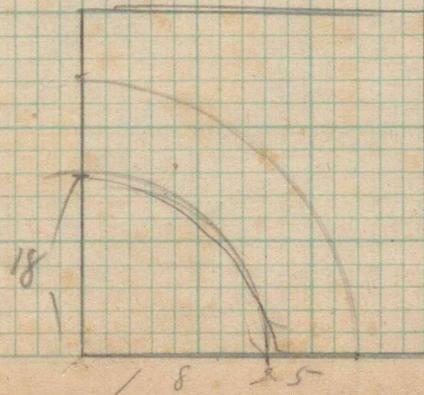
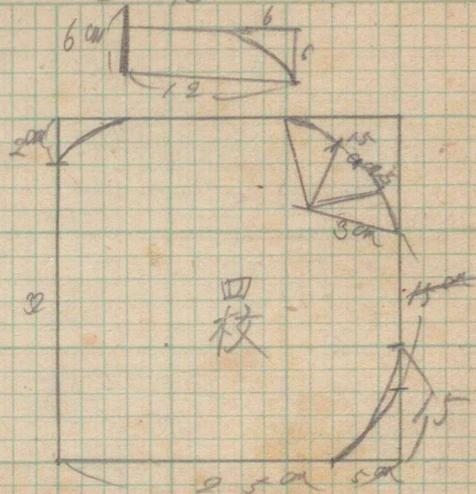
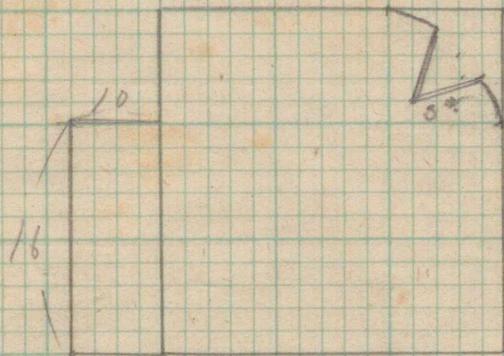
(毛ノペ)

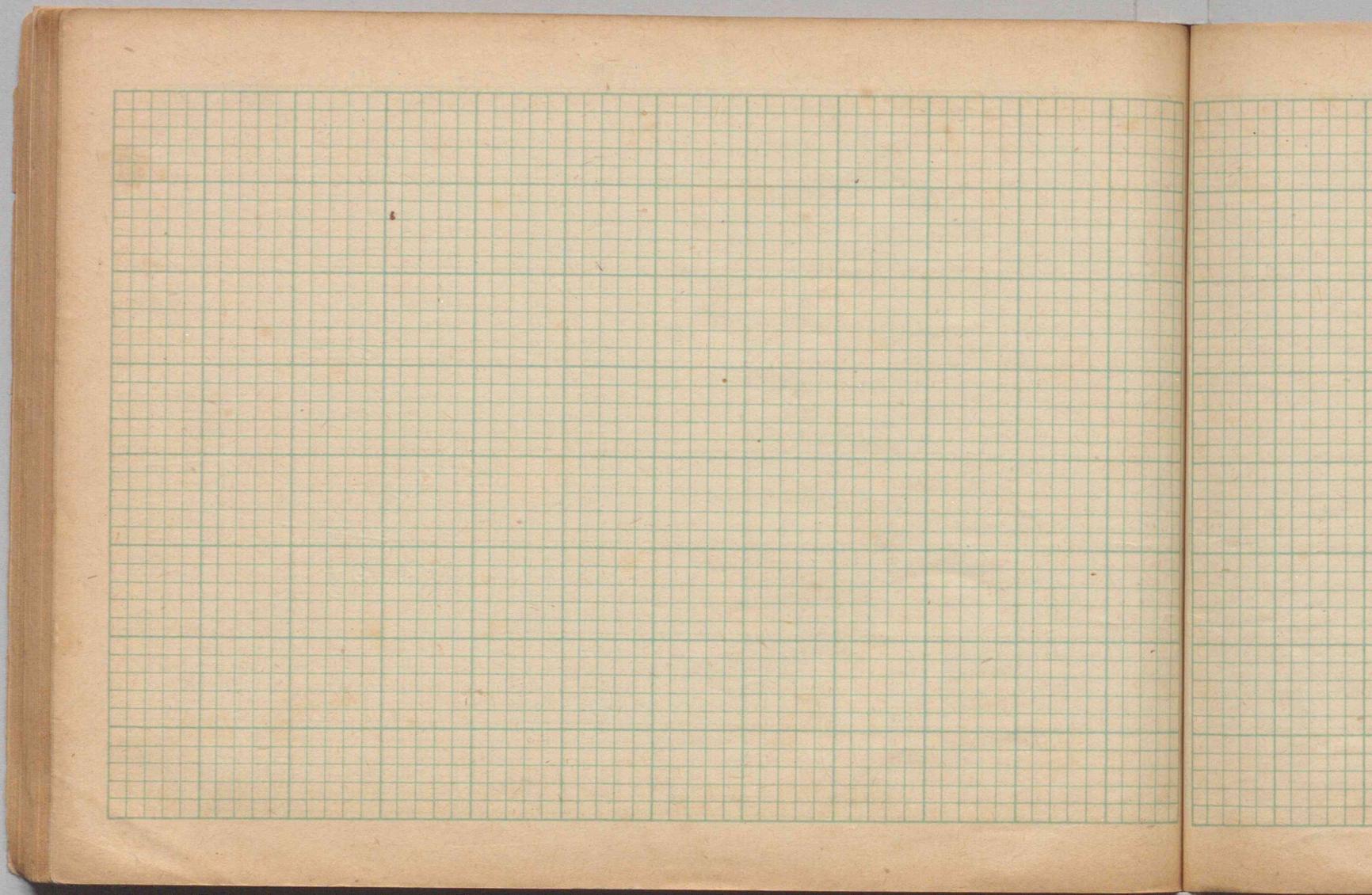


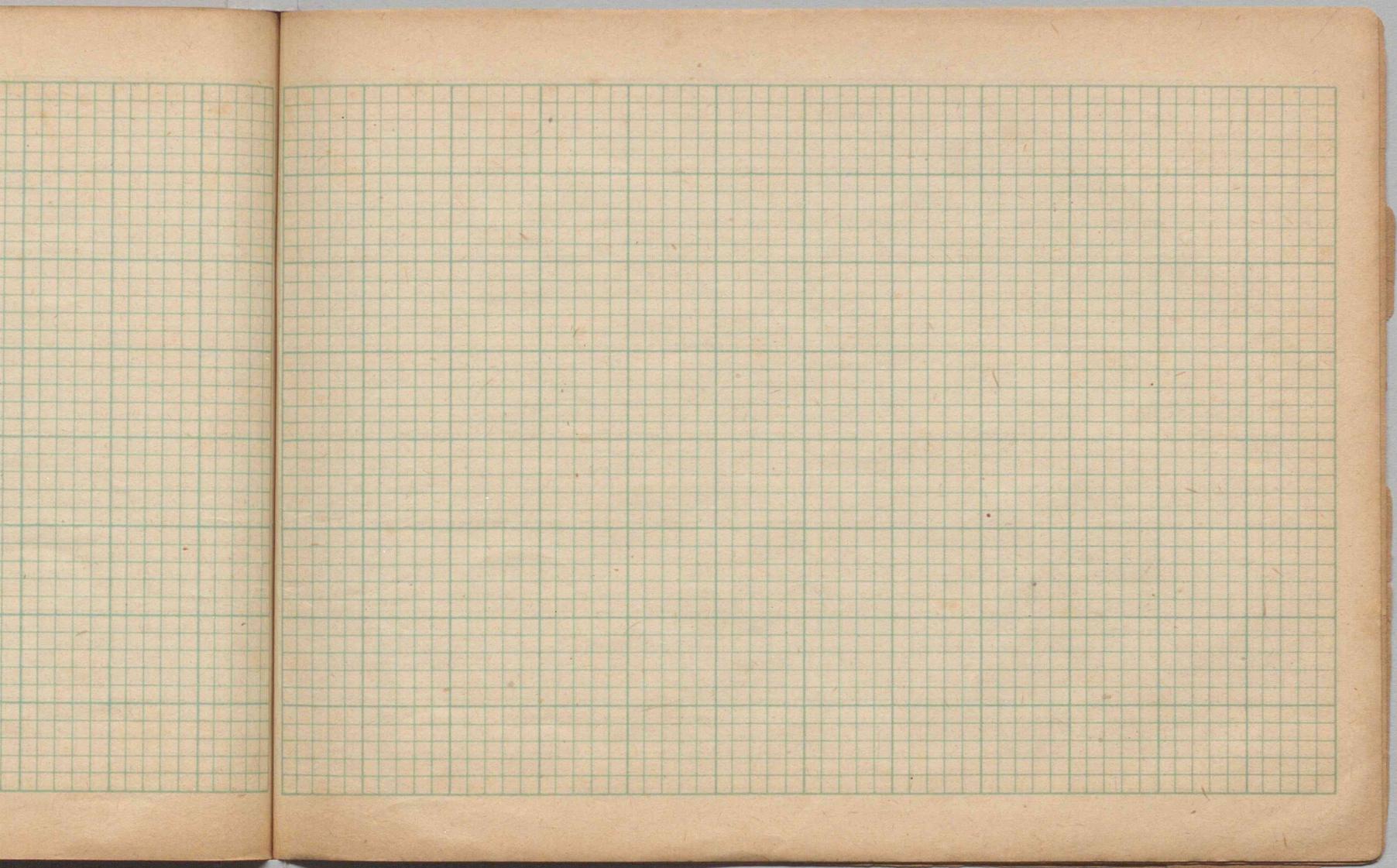
赤黒
後前
胴廻リカマテダク

(ズキ)

8a 6a 6a 9a
3a 15a







成 績 表

題目		始めた日	月	日	題目		始めた日	月	日
		出来上つた日	月	日			出来上つた日	月	日
豫定時數	時間	評語							
實習時數	時間								
反省									
批評									
題目		始めた日	月	日	題目		始めた日	月	日
		出来上つた日	月	日			出来上つた日	月	日
豫定時數	時間	評語							
實習時數	時間								
反省									
批評									

題目		始めた日	月	日	題目		始めた日	月	日
		出来上つた日	月	日			出来上つた日	月	日
豫定時數	時間	評語							
實習時數	時間								
反省									
批評									
題目		始めた日	月	日	題目		始めた日	月	日
		出来上つた日	月	日			出来上つた日	月	日
豫定時數	時間	評語							
實習時數	時間								
反省									
批評									

成 績 表

始めた日	月	日
出来上つた日	月	日

評語	
----	--

始めた日	月	日
出来上つた日	月	日

評語	
----	--

題目	始めた日		評語	題目	始めた日		評語
	月	日			月	日	
豫定時數	時間			豫定時數	時間		
實習時數	時間			實習時數	時間		
反省				反省			
批評				批評			
題目	始めた日		評語	題目	始めた日		評語
	月	日			月	日	
豫定時數	時間			豫定時數	時間		
實習時數	時間			實習時數	時間		
反省				反省			
批評				批評			

用 布 の 種 類

洋 服 地	幅	1 卷の長さ	和 服 地	巾	1 反の長さ
ク レ ッ プ	74cm位		晒 木 綿	34cm	凡 9m
ポ ブ リ ン	24 " "	27m	天 竺 木 綿	74 "	22m〔1釜〕
ギ ン ガ ム	76 " "	27m	緋	36 "	" "
キ ヤ ラ コ	90 " "	36m	染	36 "	11m
ト プ ラ ル コ	71 " "	27m	縮	35 "	10.5m
紬 ス ポ ン ジ	74 " "		絞	35 "	"
富 士 絹	74 " "		新 モ ス	35 "	11m
ボ イ ル	68 " "	54m	モ ス リ ン	75 "	22m〔1釜〕
ビ ケ	66 " "		銘 仙	36 "	11m
綿 サ ー ジ	140 " "	41m	綿 ネ ル	74 "	35m

巾	1反の長さ
4cm	凡 9m
4"	22m〔1釜〕
3"	" "
3"	11m
5"	10.5m
5"	"
5'	11m
5"	22m〔1釜〕
5"	11m
4"	35m

裁縫する時の心得

- 1 裁縫する前には手を洗ひませう
- 2 姿勢をよくいたしませう
- 3 用具をよく整頓し梭具は特に大切にいたしませう
- 4 用具には名前をつけませう
- 5 始めと終りに針を調べませう
- 6 折針や糸屑の始末をよくいたしませう
- 7 作業は順序よく熱心にいたしませう

裁方縫方をする時の心得

- 1 落ちついて工夫いたしませう
- 2 寸法を間違へぬやう正しくいたしませう
- 3 よく調べてから鋏を入れませう

鋺・アイロンを使ふ時の心得

- 1 先づ紙に一度試してから使ひませう
- 2 冷めてから後始末をいたしませう
- 3 過ちの起らぬやう火元に氣をつけませう

昭和十六年八月十日印刷
昭和十六年八月十五日發行

裁縫學習帳附

著作者 廣島縣教育會

東京市神田區一ツ橋二丁目九番地

發行者 帝國教育會出版部

代表者 大橋 貞 雄

東京市小石川區久坂町百八番地

印刷者 共同印刷株式會社

不許複製

價	定
四年	一七錢 高一 廿二錢
五年	一八錢 高二 廿二錢
六年	一八錢

發賣所

廣島市鹽屋町四二番 廣島積善館

電話貯金口座
大原二〇五一番

(共同印刷株式會社印刷)

向にB24十一機、P38二機より成る機群
が艦隊を企圖し猛烈に突進し、先その種諸艦
は甲板より射撃果敢なる攻撃を反復し更にB24三機、P38
を撃墜す、この間左舷に貫通弾を受けるも取せず、艦に損害
を蒙らず、

初に立つ の別なし

文全書教

ワケルト 總蹶起を促す

國民の燃ゆる決意を精進して本年こそ戦争の勝利の鐘を撞くために進軍する
八國同盟 會議 即ち去る十二日二時教書を議會に送り、露壯烈なる世界戦争
に、一層の二敵情を激し「米國國民は戦争に勝つために戦
兵と一般人と市民と政府は二丸となつてさらに戦争
る獲れる空論論について痛烈なる警告を著して全國民の注意を喚起する
戦争策の強化であるが、これによれば敵もまた如何に固い決意と團結をも
つて勝つために進軍してゐるかがわかる。この米國の必死の決意を打ち破るためにはわれわれもさらに教員の努力を重ねて、あくまで
勝つては武闘、思想には思想の確固不動の勝ち抜く決意を強めなければならない、敵を恐れず、懼らず、われわれは戦争生活に徹
するべき能く準備してつかり、ルーズヴェルトの教書全文は次の如くである。



トルニブズール

ちの時代のやうに米國民が面白
半分前進軍力で走る車に乗リ
廻したのち頭腦的な反駁に當面
して立ち止まり、その返した
くはないと、決心した
安全は障一占張り

ハルが十月モスタウに於て余が十
二月カイロならびにテヘランに向
いた時時にならざればわれわれは

種頭教書

われならびにわれらの盟邦各國の
情を考へればこの戦争からわれわ
れならびにわれわれの子弟が軍に
生き残るだけでなく何よりよい
ものを確保するやう取計り義務
を看做すに当たらねばなら
ぬ、われわれは今度の戦争のうち
中間的な期間がつつてさらに新
しい進取を誘致するべきでないや

説

その三つの三つの三つの三
四十七機を撃墜した。同盟西部
艦隊中の地上艦隊はつても、艦
隊の前進は敵上陸部隊の心算
をからしめてゐる。この二一
一七日に於ける艦隊は、決
して行はれたものでない。
も、彼等は今までに、こ
の目的の達成が、大艦
隊の進軍の目的に當り
て、攻防何れの点からも、彼等の
常面してゐる事象が、實なる目的も

その三つの三つの三つの三
四十七機を撃墜した。同盟西部
艦隊中の地上艦隊はつても、艦
隊の前進は敵上陸部隊の心算
をからしめてゐる。この二一
一七日に於ける艦隊は、決
して行はれたものでない。
も、彼等は今までに、こ
の目的の達成が、大艦
隊の進軍の目的に當り
て、攻防何れの点からも、彼等の
常面してゐる事象が、實なる目的も

流感と戦力

即ち艦隊後、隊から侵入した
流行性感冒、いはゆるスペイン風
邪のためには、國が手早く、艦隊
に生

れたい、今なほ人々
新たなること、その
門が昨今敵米をばしめ
に感ぜし、特に英國、
おいて進軍を感してゐる
れる。今度の場、即ち
置して、わが國は直接全
敵はないから、それだけ
侵入する機會を少いわけ、
油断は禁物である。その
政府が今回、生計に流行性
防疫委員會を設けたので
である。

だが、設防せねばなら
は、敵側から侵入する流感
は、この冬は四國の防
推して、わが國自身にも感

